

“ユニバーサルデザインのまちづくり”に関する 大田区民アンケート調査結果（速報）

1 目的

「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針（以下「基本方針」という。）」の改定に向けて、区民や関係団体を対象に実態調査（アンケート調査及びヒアリング調査）を実施する。

2 調査対象

（1）区民向けアンケート

大田区在住の障がい者・高齢者・要介護認定者・未就学児の子育て者を中心とした16歳以上の4,000人を対象とする。

対象者(区民 4,000 人)の内訳	調査票数	割合
障がい者(手帳等所持者から無作為抽出)※1	1,350 票	34%
高齢者(70歳以上、介護認定無、無作為抽出)	80 票	16%
介護認定者(要支援1・2及び要介護1～5、無作為抽出)	570 票	
未就学児の子育て者(0～5歳の保護者を無作為抽出)	900 票	23%
その他無作為抽出(16歳以上) ⇒住民基本台帳システムから16歳以上を抽出後、先に他の対象者をそれぞれ重複がないよう無作為抽出し、これらを抽出対象から除いた後、最後に1,000人を無作為抽出して、重複がないよう確認。	1,050 票	26%
区民推進会議委員(大田区民)・UDパートナー	50 票	1%
合計	4,000 票	100%

※1 障がい者（手帳等所持者から無作為抽出）

（2）事業者向けアンケート

大田区商店街連合会などを対象に事業者向けアンケートを実施する。

（3）小中学校の児童生徒向けアンケート

- ア 大森東小学校 4年生（1クラス）27名
- イ 赤松小学校 4年生（2クラス）57名
- ウ 東蒲中学校 1年生（3クラス）100名

3 調査期間と回収状況

本調査の調査期間、配布数、回収数、回収率は以下のとおり。

※R7.10.31時点

	調査期間	配布数	回収数	回収率
区民向け	令和7年9月下旬 ～10月31日	4,000 通	1,878 通 紙：1,090 Web:788	46.95%

4 調査項目

(1) 区民向けアンケート

項目		内容
属性	回答者の情報	年代、性別、国籍、世帯状況、障がい情報（障害種別、等級）、介護度、居住地域（4地域）
物理的な バリアに係る質問 （職場や学校等、対象者が決まっている施設は含まない。）	外出状況	取り組み成果（アウトカム評価） 等
	道路	道路・歩道における課題
	交通機関	駅における課題
	公園	身近な公園における課題
	公共施設	公共施設における課題
	民間施設	日常生活で誰もが利用する施設（お店等）における課題
文化・情報面での バリアに係る質問	情報の入手	現状把握（外出する際にどのような情報を収集するか）、情報発信における課題
制度的な バリアに係る質問	社会活動への参加	講演会・イベント等に参加する場合に必要な配慮、防災訓練の参加における課題
意識上の バリアに係る質問	人の対応・接遇、合理的配慮	区の窓口やお店における対応やまちの中で声かけにおける課題

(2) 事業者向けアンケート

- ・ 商店街名、業種
- ・ 配慮が必要なお客様から評判の良い対応の内容
- ・ 配慮が必要なお客様から求められた要望で、対応が難しかった事例内容
- ・ 配慮が必要なお客様のために、改善していきたい点
- ・ 改善にあたり、区からあると有効だと思える支援

(3) 小中学校向けアンケート

- ・ 属性（小学生または中学生、性別）
- ・ 「道路」「公園」「図書館、児童館、中高生ひろば」「電車やバス」で、“もっとこうなれば使いやすいのにな”とか、“困っていること”や、“不便だと思うこと”
- ・ まちの中で困っている人への声をかけ
- ・ 家の中や学校以外で困っていること、不便なこと
- ・ まちの中でユニバーサルデザインになっていると思うものや場所

5 調査報告

各アンケートの結果については、第29回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議で報告する。

アンケート結果の集計については、単純集計の他、必要に応じてクロス集計を行う。クロス集計では、設問によって年齢別、国籍別（日本/日本以外）、子

育て（一子/多子）、障害別、障害者の同居者別（一人暮らし/一人暮らし以外）、介護別に行う予定。

6 調査結果（速報）

速報では、アンケート用紙で回答された 1,090 人、Web で回答された 788 人の合計 1,878 人の結果を示す。

6-1 記入者

【問1】この調査票はどなたが記入されますか？次のうち、あてはまるものをお答えください。

- ・「本人が記入」が 1,417 人（75.5%）と一番多く、次いで「本人の意見を聞いて、代筆」が 191 人（10.2%）、「本人の意向を考えて、代筆」が 146 人（7.8%）となった。

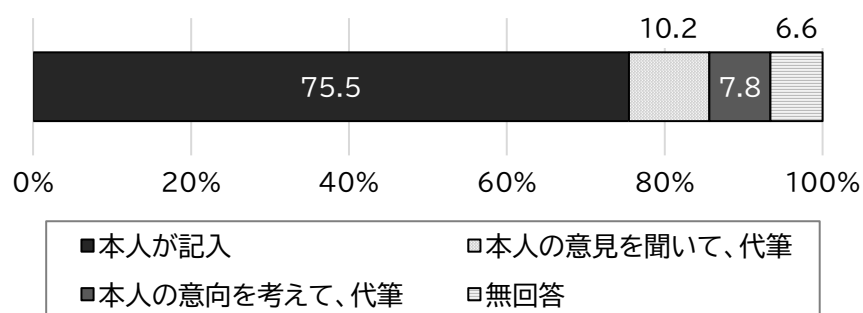


図1 記入者（N=1,878）

6-2 年齢

【問2】あなたの年齢を教えてください。

- ・30代が397人（21.1%）と一番多く、次いで、70代が304人（16.2%）、40代が288人（15.3%）となった。
- ・16歳から18歳が47人（2.5%）、90歳以上が22人（1.2%）など、多様な年代から回答があった。

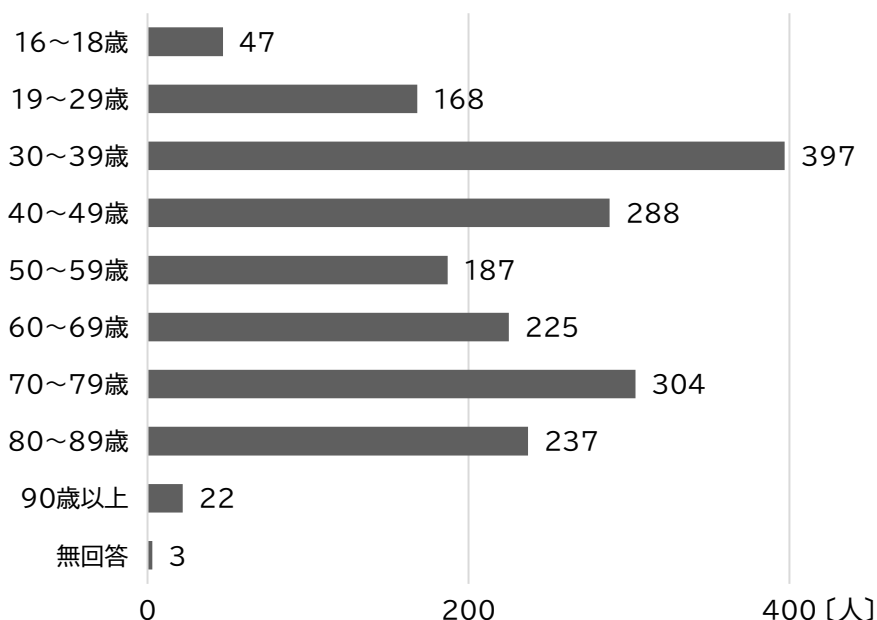


図2 年齢 (N=1,878)

6-3 性別

【問3】あなたの性別を教えてください。

- ・「その他」「回答しない」を除き、女性が1,026人（54.6%）、男性が836人（44.5%）となった。

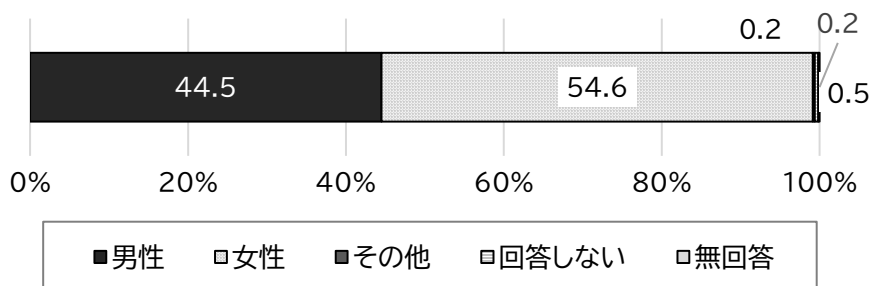


図3 性別 (N=1,878)

6-4 国籍

【問4】あなたの国籍か地域を教えてください。

- ・「日本」と回答した人が1,844人で、「日本以外」を回答した人が36人となった。また、「日本以外」では中国が15人、韓国が5人、ベトナムが4人、アメリカ3人となった。

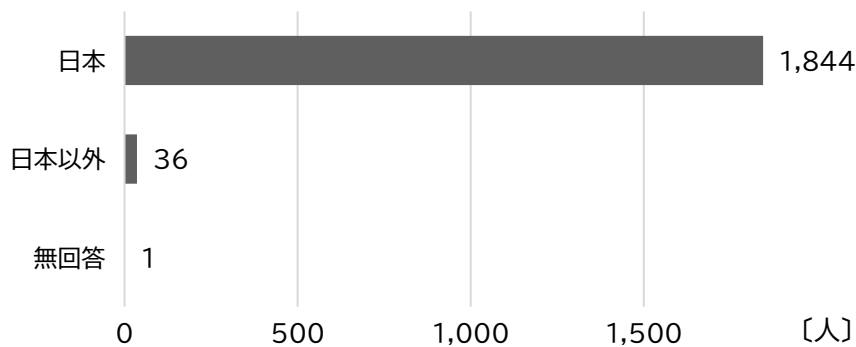


図 4-1 国籍 (N=1,878)

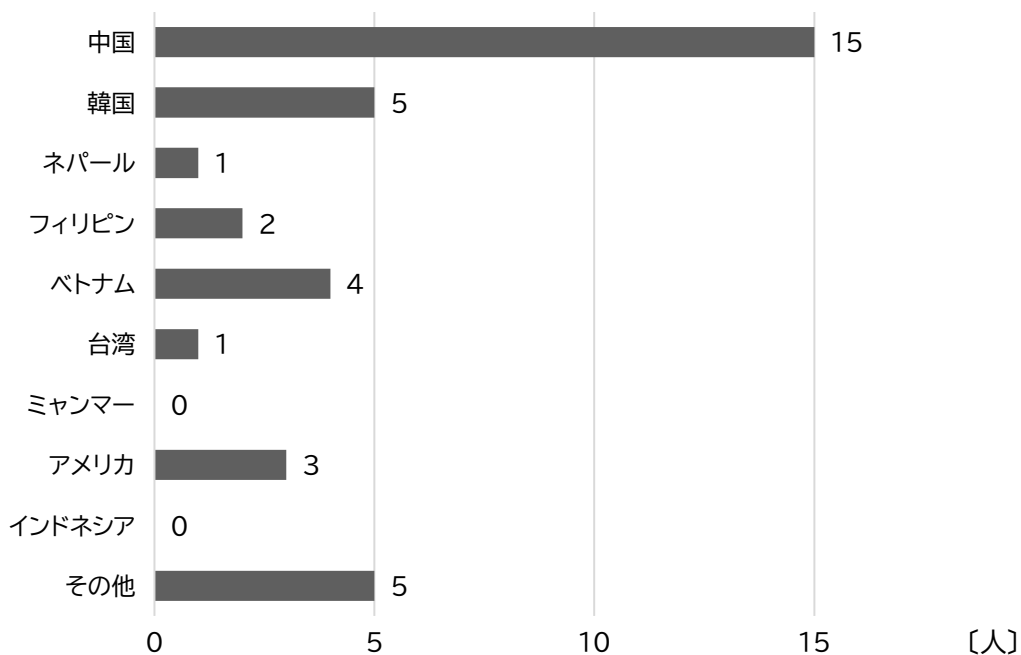


図 4-2 日本以外の国籍の人数 (N=36)

6-5 同居者

【問5】現在、あなたと一緒に住んでいる方を教えてください。

- ・「19歳未満の子どもはいない（ひとり暮らしを除く）」と回答した人が685人（36.5%）で、「19歳未満の子ども（宛名のご本人含む）がいる」と回答した人が671人（35.7%）、「ひとり暮らし」と回答した人が281人（15.0%）となった。

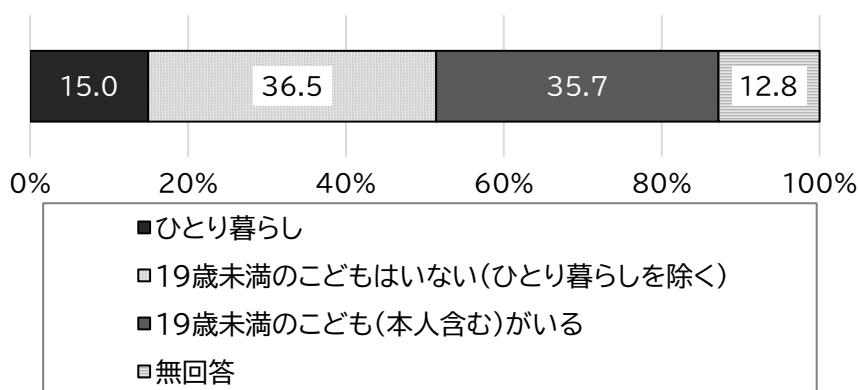


図5 同居者の内訳 (N=1,878)

6-6 要介護者の有無

【問6】現在、あなたまたはあなたと一緒に住まいの方で、介護や介助（育児を除く）が必要な方の年齢と人数を教えてください。

- ・「介助が必要な人はいない」と回答した人が1,108人で、「65歳以上が1人以上」と回答した人が257人、「18～64歳が1人以上」と回答した人が155人、「0～17歳が1人以上」が37人となった。

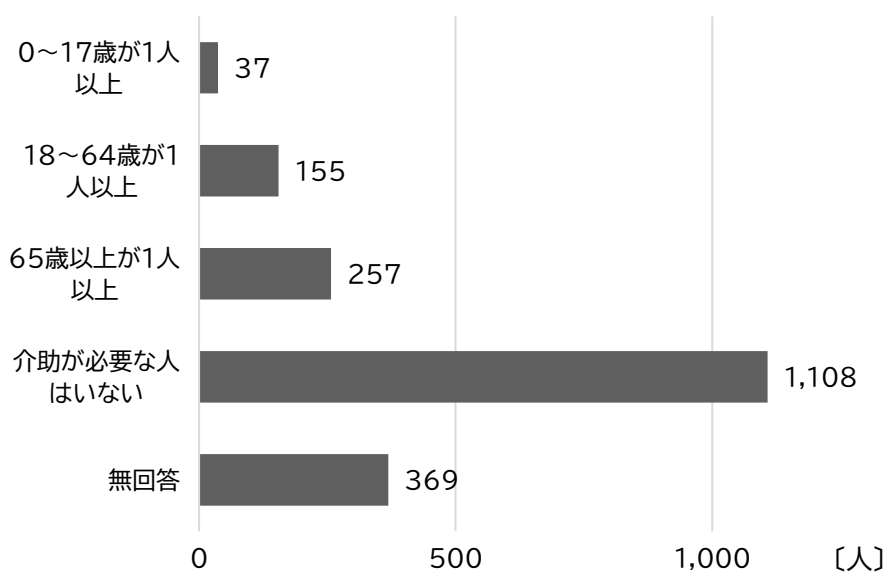


図6 要介護者の有無 (N=1,878)

6-7 障害者手帳や受給証の有無

【問7】現在、あなた（宛名のご本人）がお持ちの手帳や受給者証はありますか？
（あてはまるものすべてに○）。

- ・「手帳または受給証を持っていない」と回答した人が1,041人（55.4%）で、「手帳または受給証を持っている」と回答した人が776人（41.3%）となった。
- ・手帳または受給証の種類は、「身体障害者手帳」が521人、「特定医療費（指定難病）受給者証」が129人、「愛の手帳」が121人、「自立支援医療受給者証（精神通院）」が117人、「精神障害者保健福祉手帳」が105人となった。（複数所持の人を含む）

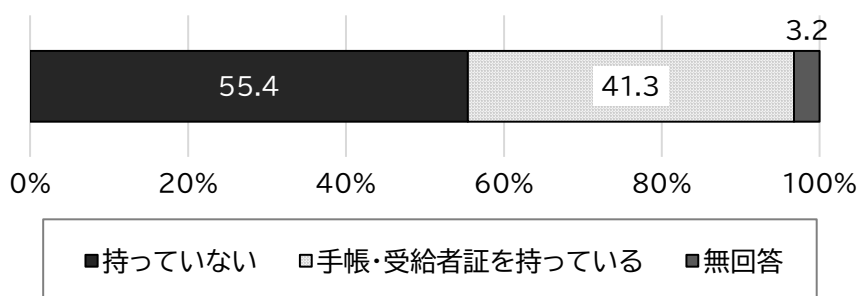


図 7-1 障害者手帳や受給証の有無 (N=1,878)

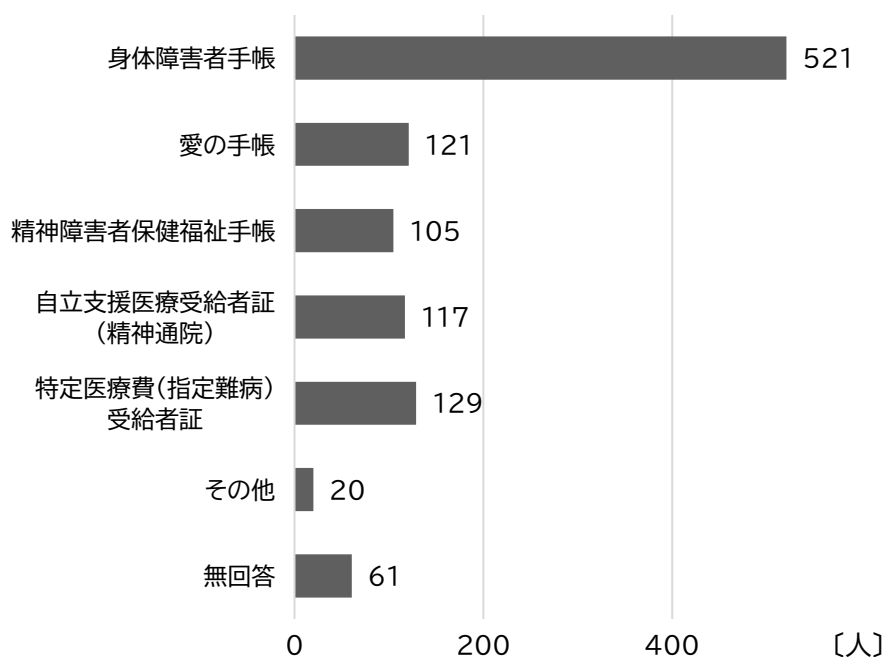


図 7-2 障害者手帳や受給証の内訳 (N=776)

6-8 手帳や受給証の種類

【問8】あなたが持っている手帳や受給者証の種類は次のうちどれですか？（あてはまるものすべてに○）

- ・「肢体不自由」と回答した人が223人、「精神疾患」と回答した人が123人、「難病」と回答した人が113人、「知的障がい」と回答した人が108人、「内臓や免疫機能などの内部障がい」と回答した人が105人となった。（複数回答有）

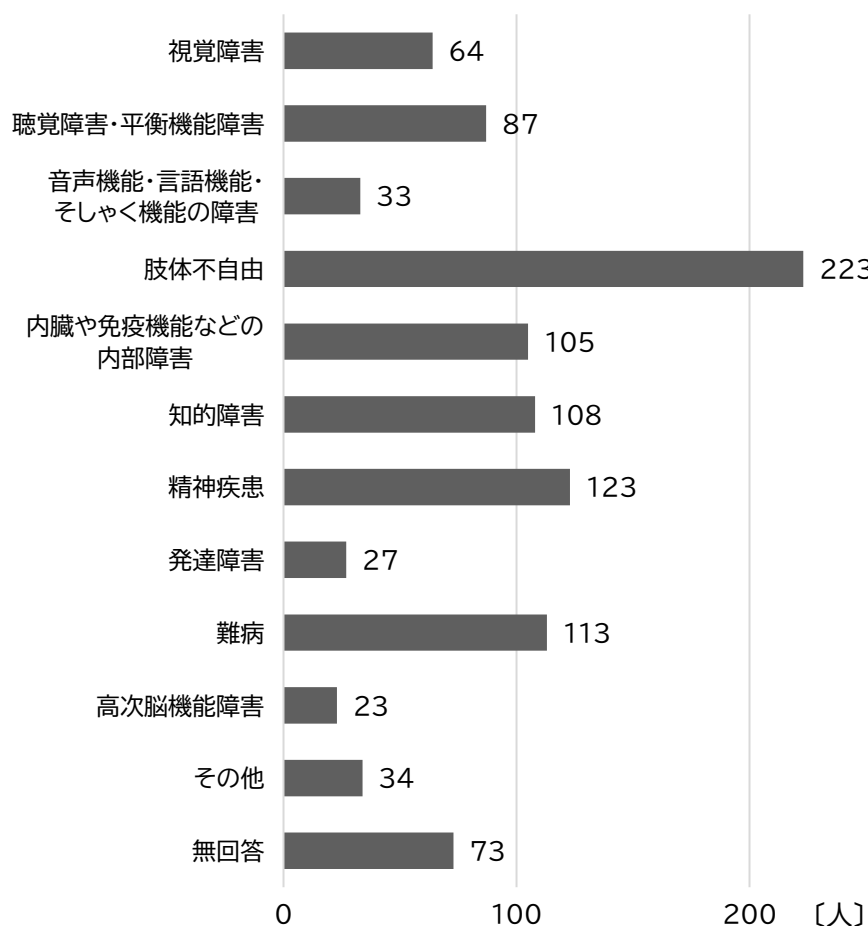


図8 手帳や受給証の種類（N=776）

6-9 介護認定の有無

【問9】あなたは介護保険制度で、要支援または要介護の認定を受けていますか？

- ・「要介護・要支援認定を受けていない」と回答した人が1,411人(75.1%)で、「要介護・要支援認定を受けている」と回答した人が357人(19.0%)となった。
- ・「要介護・要支援認定を受けている」と回答した人のうち、「要介護2」が59人(16.5%)で、「要支援1」が53人(14.8%)、「要介護3」が52人(14.6%)、「要支援2」が51人(14.3%)、「要介護1」が51人(12.3%)、「要支援4」と「要介護5」が43人(12.0%)となった。

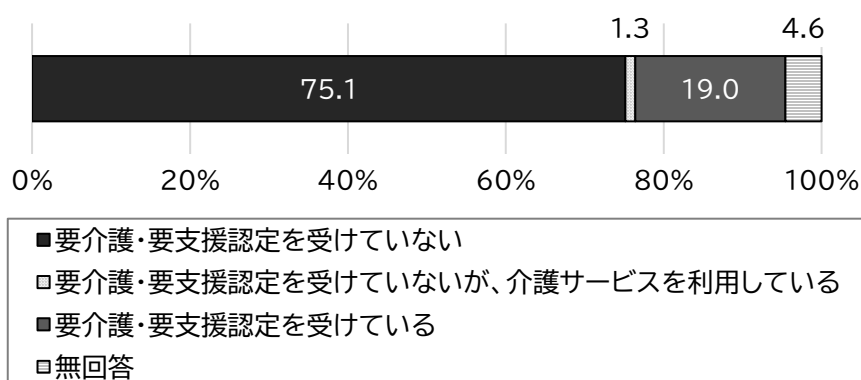


図 9-1 介護認定の有無 (N=1,878)

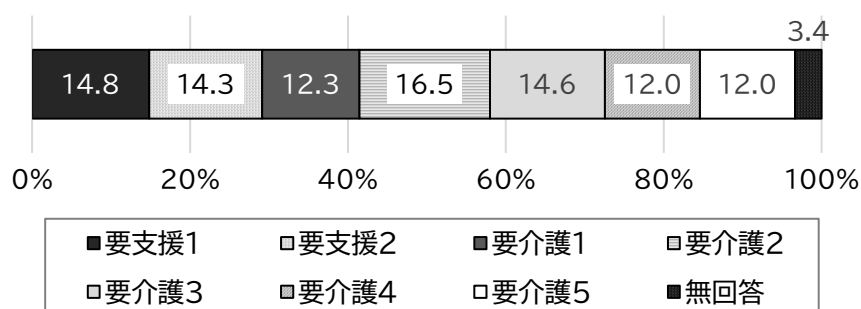


図 9-2 介護度の内訳 (N=357)

6-10 お住まいの地域

【問 10】あなたのお住まいの郵便番号を教えてください。

・「蒲田」が 569 人（30.3%）で、「大森」が 539 人（28.7%）、「調布」が 497 人（26.5%）、「糀谷・羽田」が 250 人（13.3%）となった。

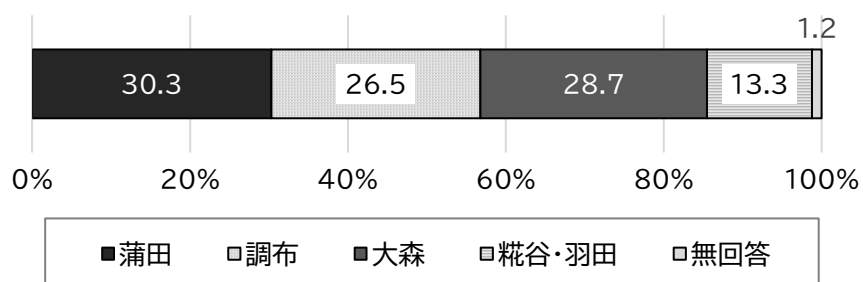


図 10 お住まいの地域 (N=1,878)

6-11 居住年数

【問 11】あなた（宛名のご本人）は大田区に住んでから何年経ちましたか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「10年以上」と回答した人が1,269人（67.6%）で、「5年未満」と回答した人が315人（16.8%）、「5年以上10年未満」と回答した人が279人（14.9%）となった。

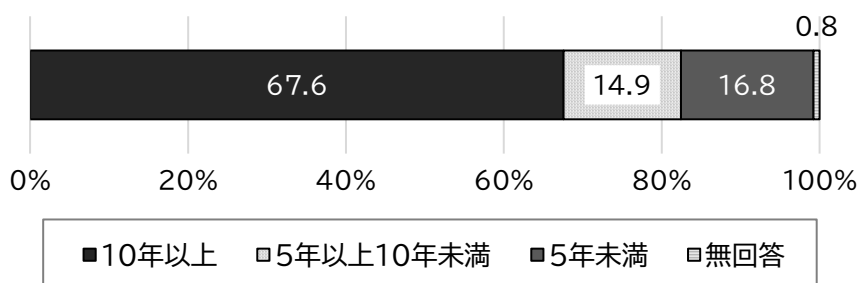


図 11 居住年数 (N=1,878)

6-12 外出頻度

【問 12】あなた（宛名のご本人）が外出する日数はどれぐらいですか？（一番近いもの1つだけに○）

- ・「週に5～7日程度」と回答した人が1,151人（61.3%）で、「週に3～4日程度」と回答した人が357人（19.0%）、「週に1～2日程度」と回答した人が174人（9.3%）となった。

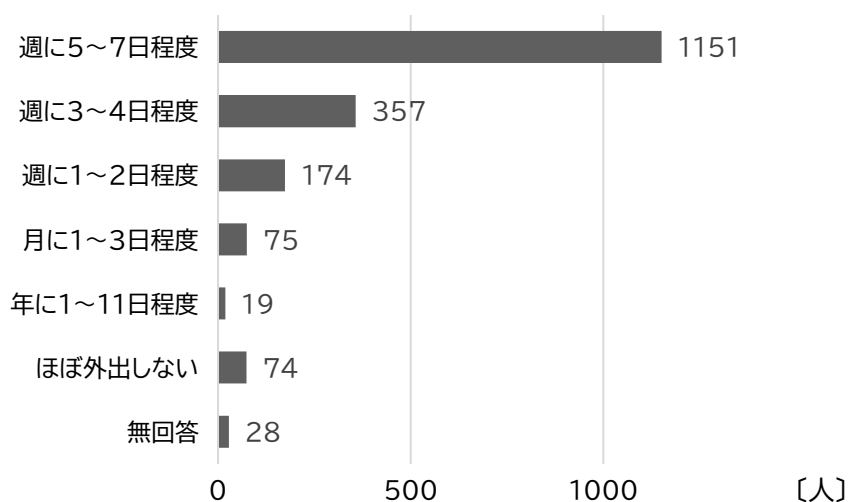


図 12 外出頻度 (N=1,878)

6-13 外出目的

【問 13】あなた（宛名のご本人）が外出する目的として多いものを教えてください。（回数が多いいものから3つまで○）

・「買い物・食事」と回答した人が1,248人で、「通勤・通学・通園」と回答した人が885人、「通院・通所」と回答した人が574人となった。

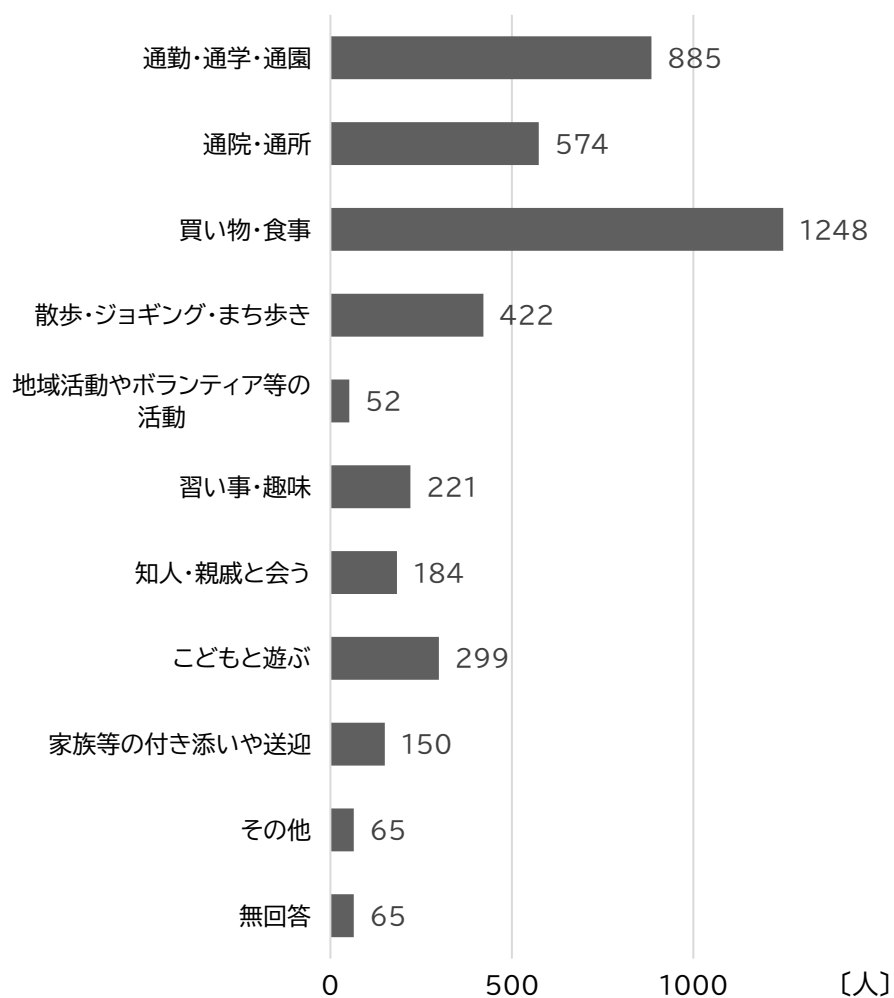


図 12 外出目的 (N=1,878)

6-14 外出手段

【問 14】あなた（宛名のご本人）が外出手段として利用が多いものを教えてください。（利用が多いものから3つまで○）

・「徒歩」と回答した人が1,335人で、「電車・モノレール」と回答した人が1,018人、「自転車」と回答した人が668人となった。

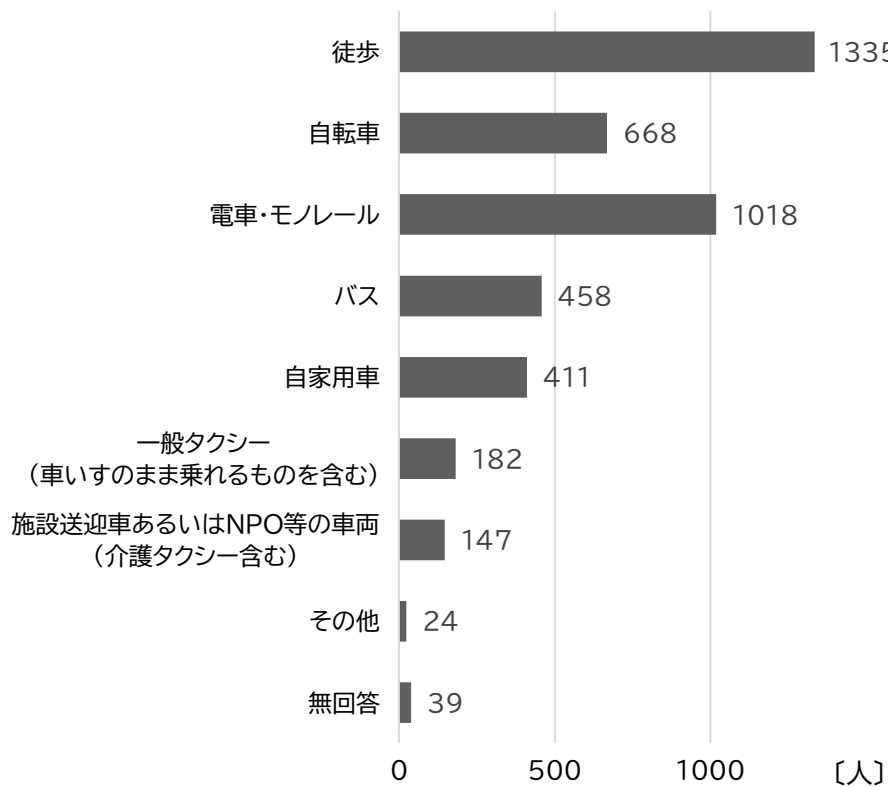


図 14 外出手段 (N=1,878)

6-15 外出時に使用しているもの

【問 15】あなた（宛名のご本人）が外出時の移動に使用しているものは何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- ・「何も使用していない」と回答した人が1,230人で、「杖、ポール、ウォーキングカートなど」と回答した人が203人、「手動車いす」と回答した人が143人となった。
- ・また、こどもと外出する際は「ベビーカー・こども用車いす」と回答した人が173人、「抱っこ紐・おんぶ紐・スリング等」と回答した人が121人となった。

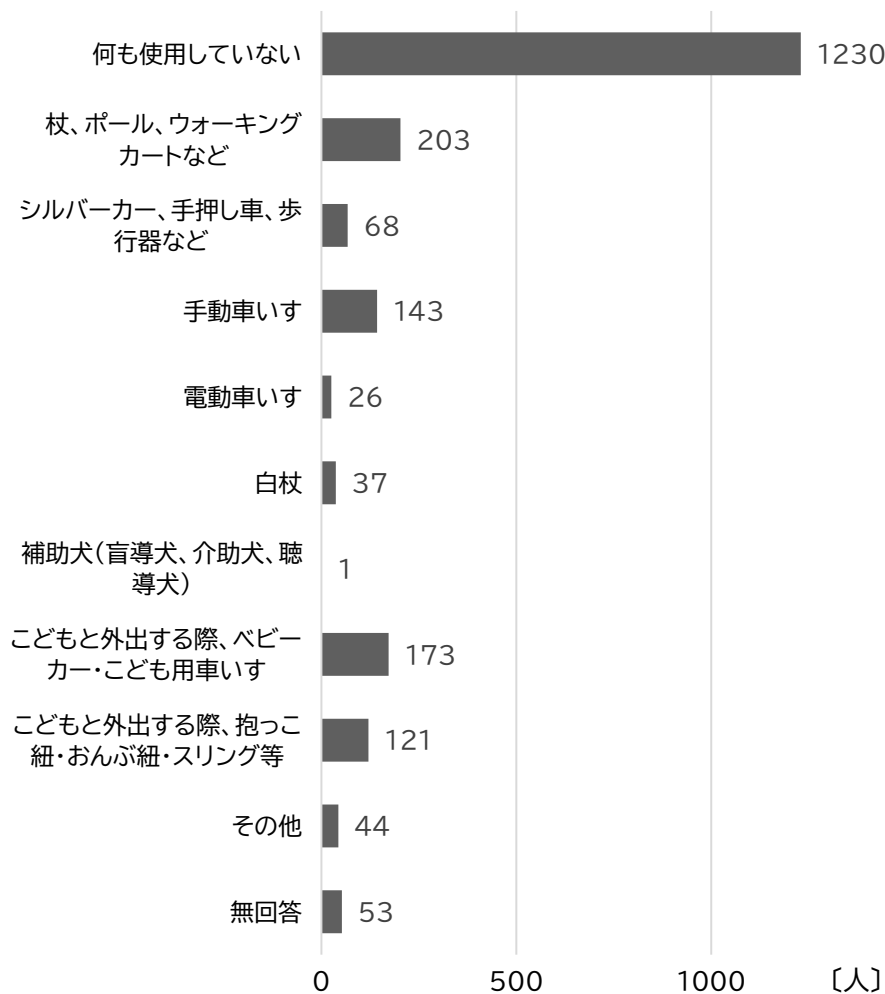


図 15-1 外出手段 (N=1,878)

- ・「杖、ポール、ウォーキングカートなどの使用年数」について、「10年未満」と回答した人が111人(54.7%)で、「10年以上」と回答した人が40人(19.7%)となった。

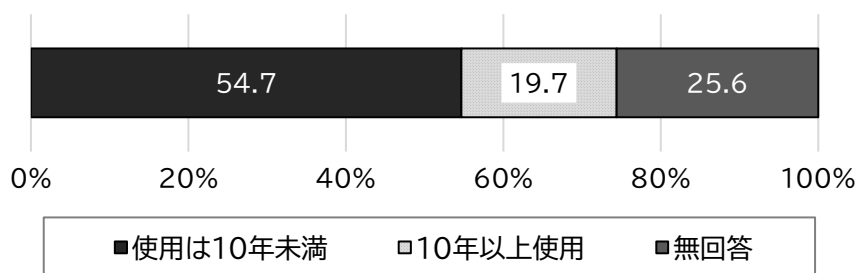


図 15-2 杖、ポール、ウォーキングカートなどの使用年数 (N=203)

- ・「シルバーカー、手押し車、歩行器などの使用年数」について、「10年未満」と回答した人が47人(69.1%)で、「10年以上」と回答した人が5人(7.4%)となった。

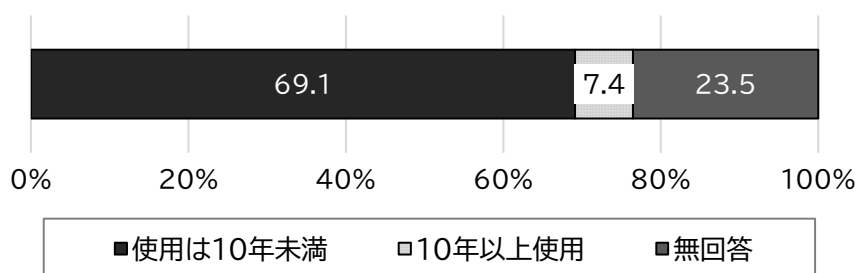


図 15-3 シルバーカー、手押し車、歩行器などの使用年数 (N=68)

- ・「手動車いすの使用年数」について、「10年未満」と回答した人が96人(67.1%)で、「10年以上」と回答した人が37人(25.9%)となった。

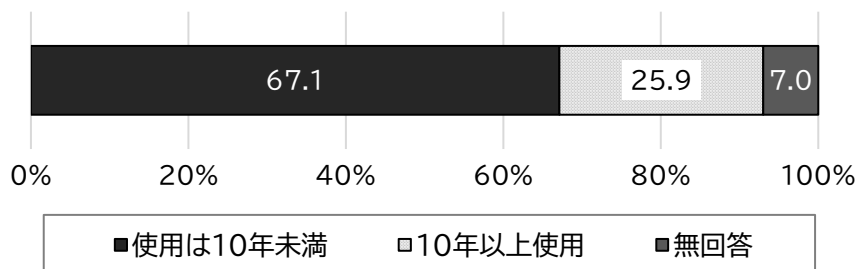


図 15-4 手動車いすの使用年数 (N=143)

- ・「電動車いすの使用年数」について、「10年未満」と回答した人が15人(57.7%)で、「10年以上」と回答した人が9人(34.6%)となった。

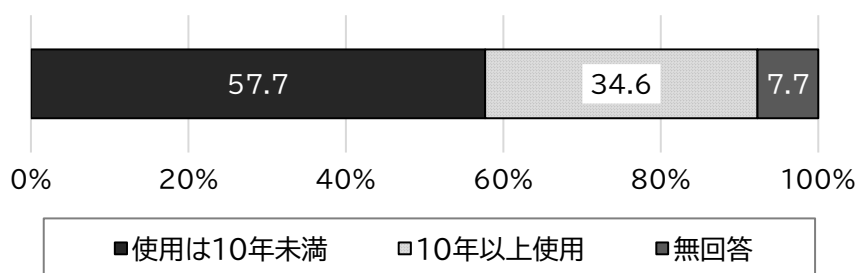


図 15-5 電動車いすの使用年数 (N=26)

- ・「白杖の使用年数」について、「10年未満」と回答した人が11人(29.7%)で、「10年以上」と回答した人が20人(54.1%)となった。

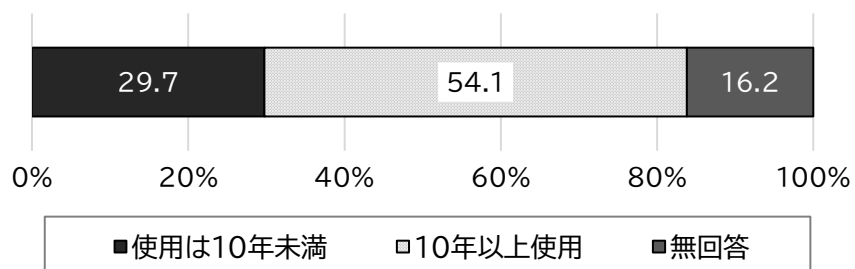


図 15-6 白杖の使用年数 (N=37)

- ・補助犬を使用している人は1人で、「補助犬の使用」は「10年未満」と回答している。

6-16 外出時の介助の有無

【問 16】あなた（宛名のご本人）が外出する時に、介助（育児は除く）は必要ですか。（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「介助は不要」と回答した人が1,371人（73.0%）で、「いつも介助が必要」と回答した人が203人（10.8%）、「たまに介助（同行援護者含む）あり」と回答した人が129人（6.9%）となった。

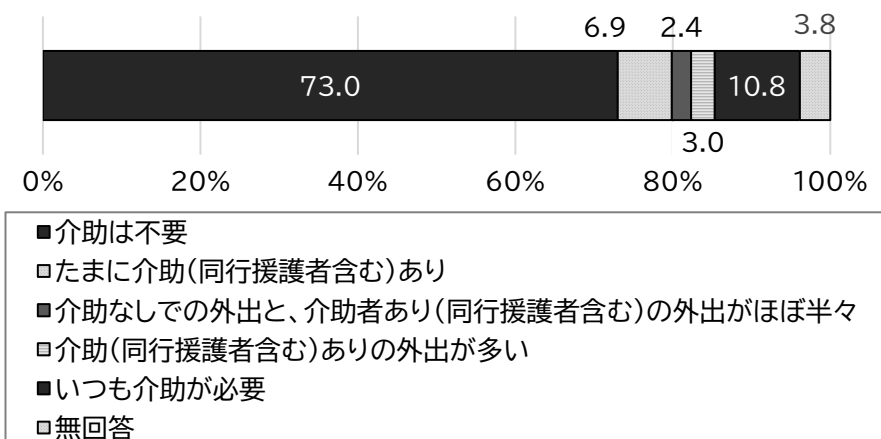


図 16 外出時の介助の有無（N=1,878）

6-17 事前に調べる内容

【問 17】あなた（宛名のご本人）が初めて行く場所に出かける前、行先についてどのような情報を調べますか？（あてはまるものすべてに○）

・「目的地の場所」と回答した人が 1,543 人で、「交通手段」と回答した人が 1,433 人、「所要時間」と回答した人が 1,364 人となった。

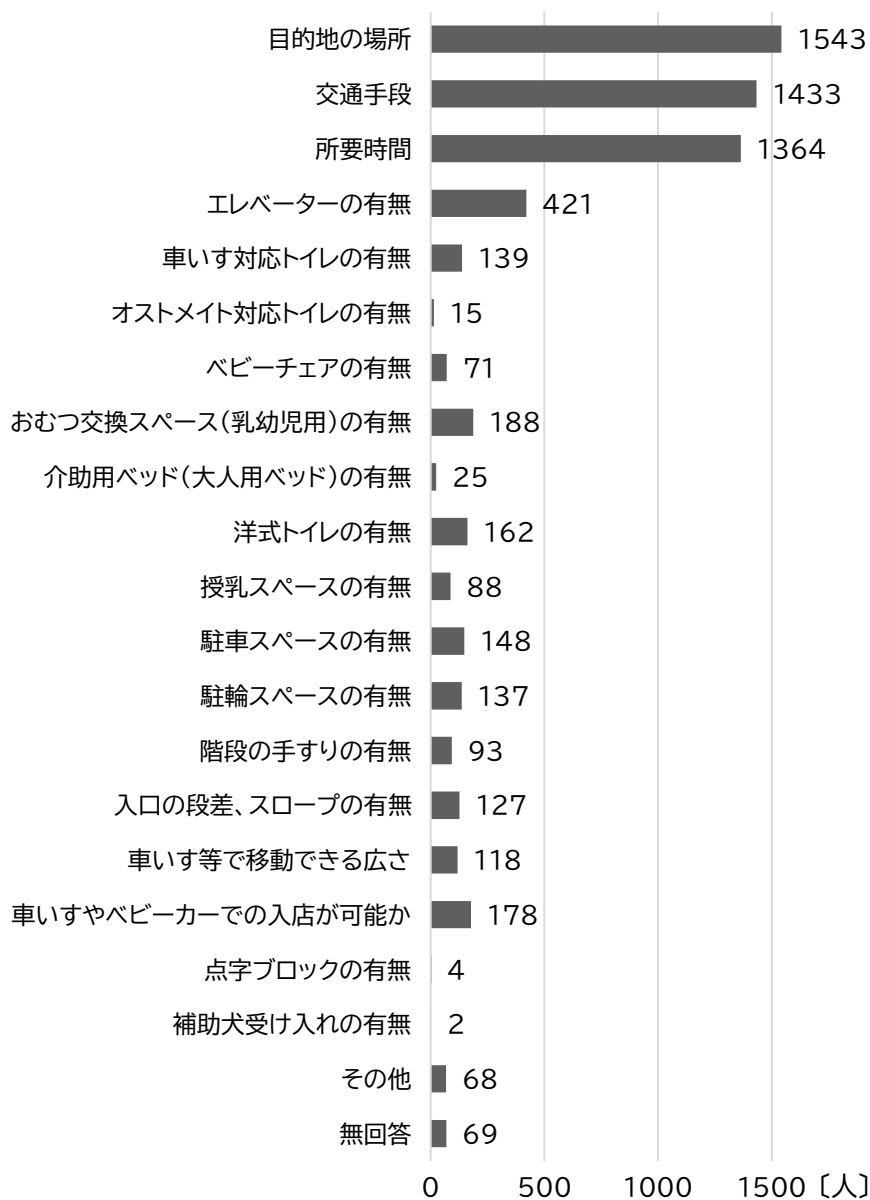


図 17 事前に調べる内容 (N=1,878)

6-18 調べる手段

【問 18】 あなた（宛名のご本人）は、問 17 の情報をどのように調べていますか？（あてはまるものすべてに○）

- ・「インターネット検索（乗換案内含む）」と回答した人が 1,346 人で、「地図アプリ（Google マップ、Yahoo! マップなど）」と回答した人が 895 人、「家族や知人に調べてもらう」と回答した人が 385 人となった。

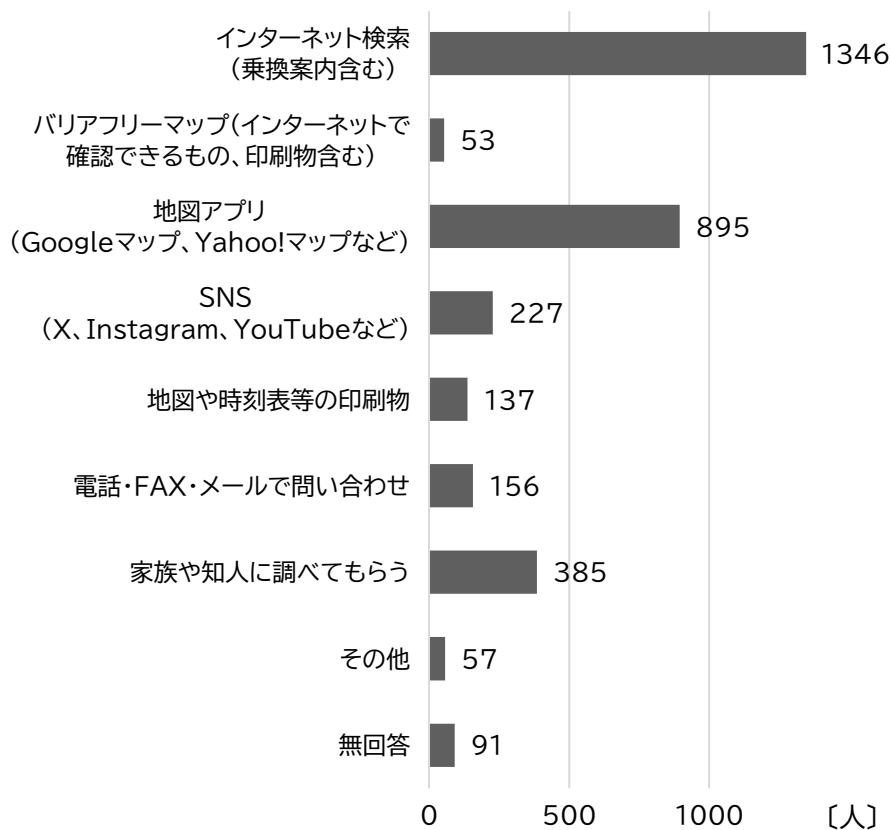


図 18 調べる手段 (N=1,878)

6-19 公共交通機関の使いやすさ（10年比較）

【問 19】あなた（宛名のご本人）は外出の際、10年前（2015年頃）に比べて、大田区内の公共交通機関（電車やバス、タクシーなど）や施設が『使いやすく』なったと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・「使いやすくなったとは思わない」と回答した人が955人で、「鉄道駅や電車が使いやすくなった」と回答した人が372人、「道路や歩道が使いやすくなった」と回答した人が257人、「バス車両やバス停が使いやすくなった」と回答した人が230人となった。

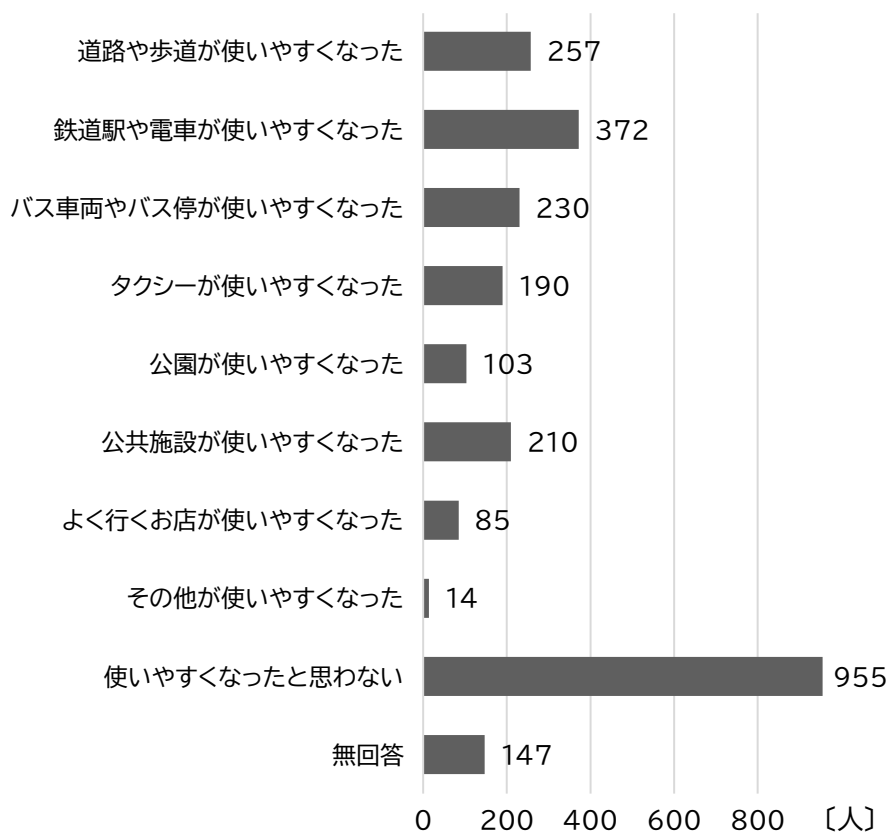


図 19 公共交通機関が使いやすくなったと感じる内容（N=1,878）

6-20 道路や歩道の不便さ

【問 21】 あなた（宛名のご本人）が利用している道路や歩道で、『不便さ』を感じていることはありますか？

- ・『不便さ』を感じることもある」と回答した人が1,212人（64.5%）で、『不便さ』を感じることはない」と回答した人が576人（30.7%）となった。

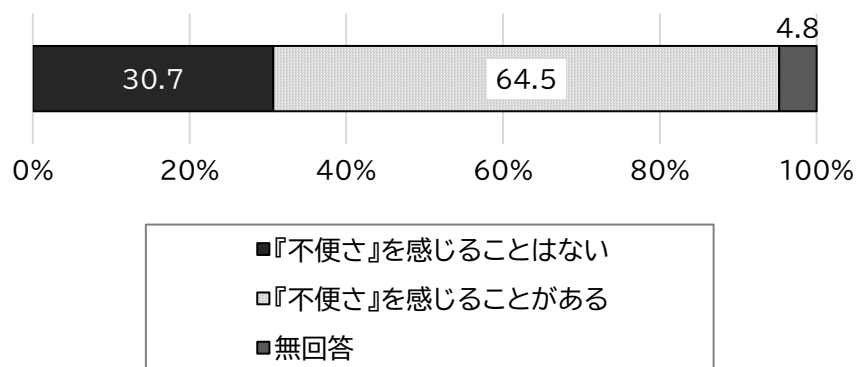


図 20-1 道路や歩道の不便さの有無 (N=1,878)

- ・道路や歩道の不便なこととして、「歩道がせまい」と回答した人が715人で、「歩道を通る自転車・キックボードなどが多い、スピードの出し過ぎ、マナーが悪い」が618人、「歩きづらい(すべる、でこぼこしている、急な坂、歩道の傾きが急など)」が484人、「歩道に障害物(自転車、看板、街路樹の枝など)がある」が298人、「車の交通量が多い」が278人となった。

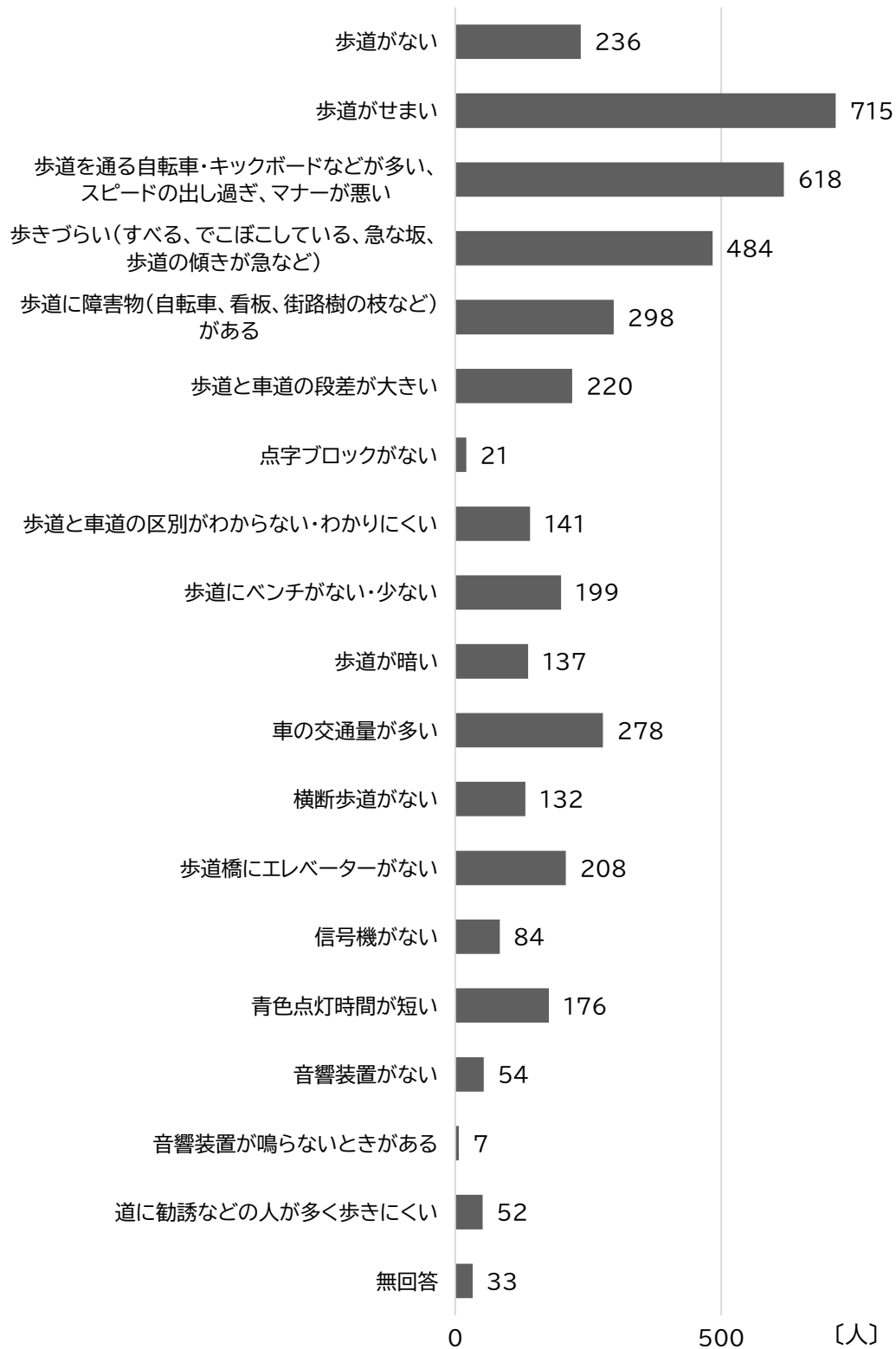


図 20-2 道路や歩道の不便なことの内訳 (N=1,212)

6-21 公共交通機関の改善してほしいこと

【問 22】 あなた（宛名のご本人）が利用する大田区内の電車・モノレール・バス・タクシーで、『改善してほしい』と感じていることはありますか？

・『改善してほしい』ことがある」と回答した人が1,020人（54.3%）で、『改善してほしい』ことがない」と回答した人が728人（38.8%）となった。

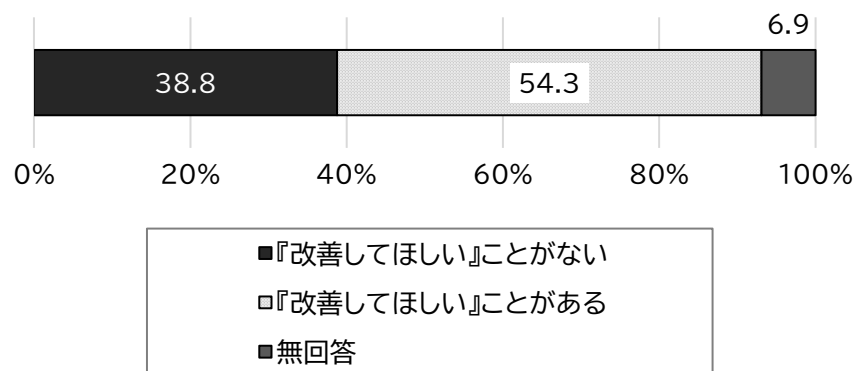


図 21-1 公共交通機関の改善してほしいことの有無（N=1,878）

・公共交通機関の改善してほしいこととして、「清潔なトイレの維持管理」と回答した人が446人で、「バス停に屋根を設置」が368人、「エレベーターの設置」が356人、「ホームドアの設置」が350人、「バス停にベンチを設置」が277人となった。

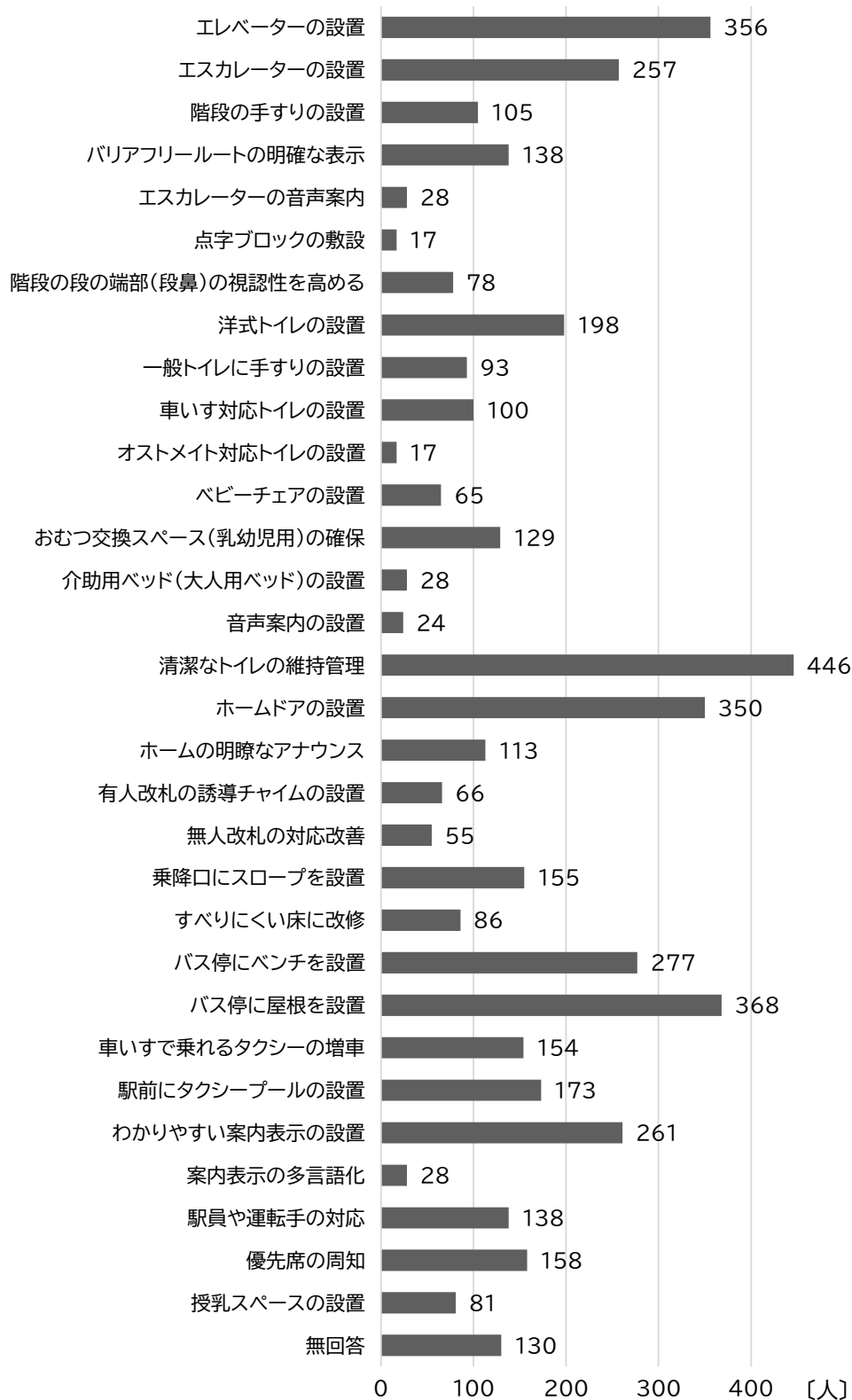


図 21-2 公共交通機関の改善してほしいことの内訳 (N=1,020)

6-22 公園の改善してほしいこと

【問 23】あなた（宛名のご本人）が利用したことがある区立公園・児童遊園で、『改善してほしい』と感じている箇所はありますか？

- ・『改善してほしい』ことがない」と回答した人が 868 人（46.2%）で、『改善してほしい』ことがある」と回答した人が 841 人（44.8%）となった。

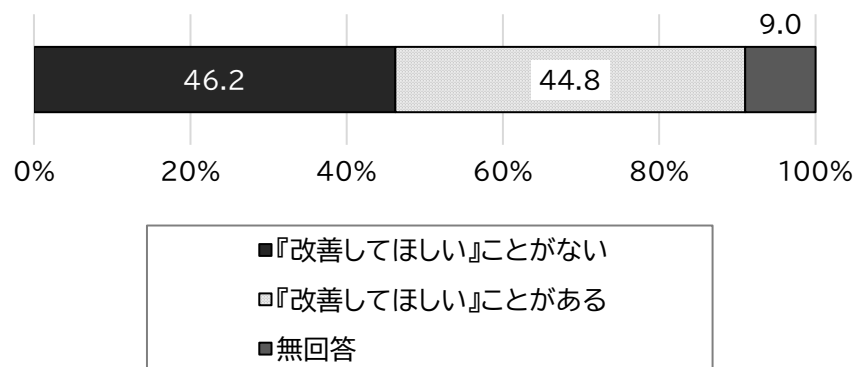


図 22-1 公園の改善してほしいことの有無 (N=1,878)

・公園の改善してほしいこととして、「清潔なトイレの維持管理」と回答した人が472人で、「日影、雨よけの設置」が434人、「休憩所、ベンチの設置」が298人、「洋式便器の設置」が192人、「遊具の設置」が182人となった。

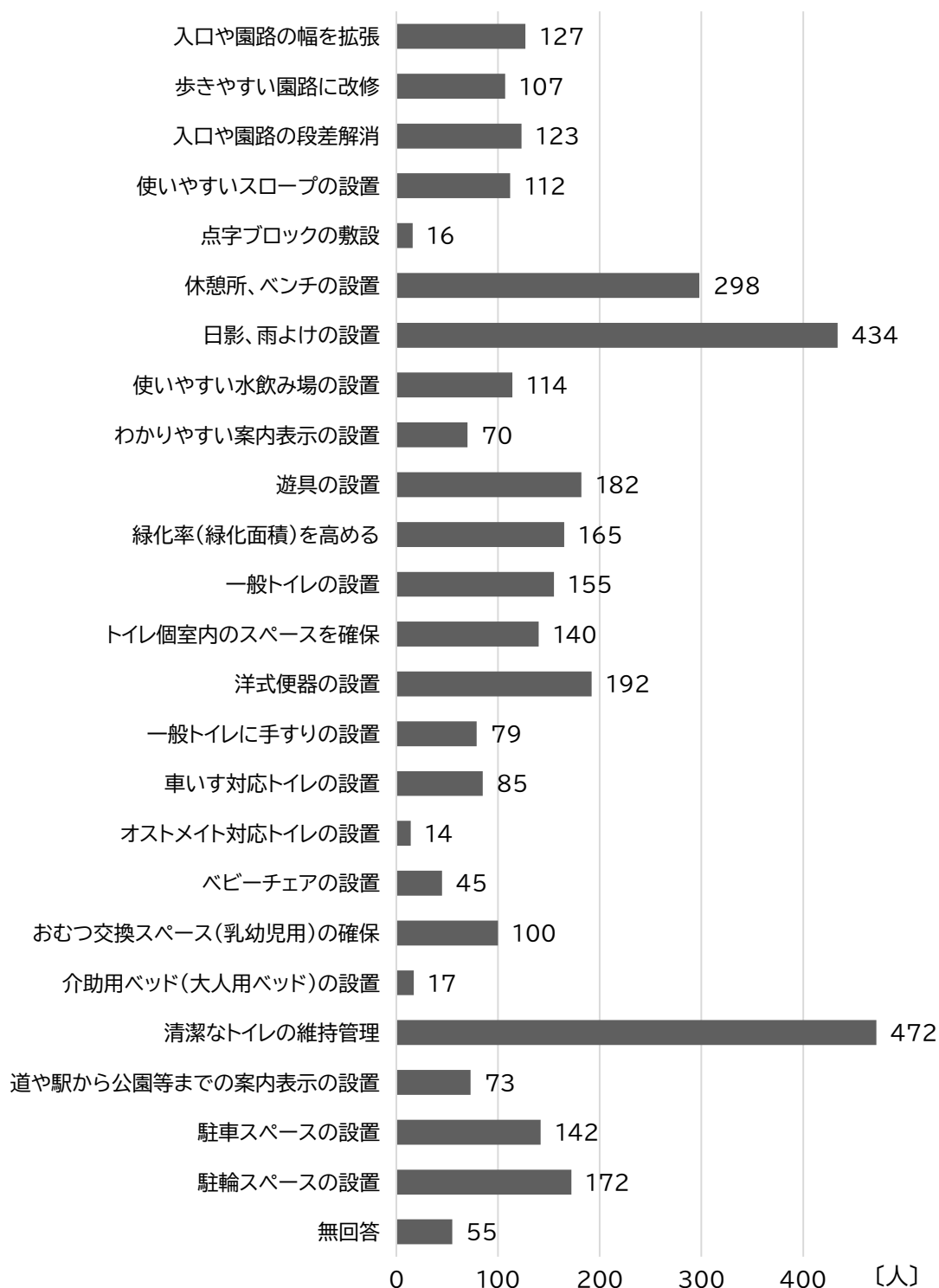


図 22-2 公園の改善してほしいことの内訳 (N=841)

6-23 区立施設の改善してほしいこと

【問 24】あなた（宛名のご本人）が利用したことがある区の施設（公園を除く）で、『改善してほしい』と感じている箇所はありますか？

- ・「『改善してほしい』ことがない」と回答した人が1,084人（57.7%）で、「『改善してほしい』ことがある」と回答した人が597人（31.8%）となった。

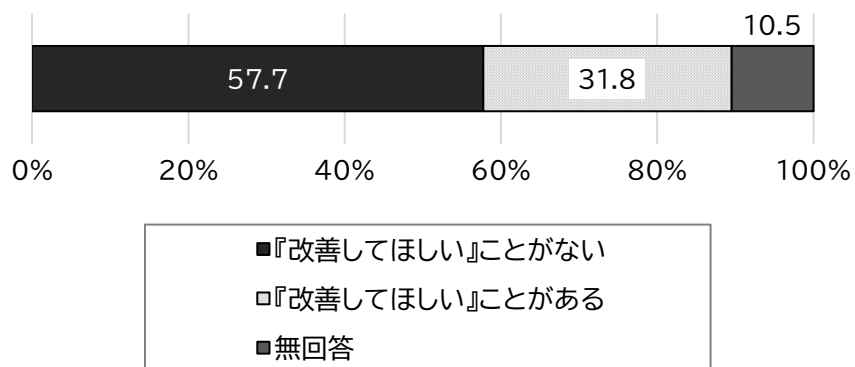


図 23-1 区立施設の改善してほしいことの有無（N=1,878）

・区立施設の改善してほしいこととして、「休憩所・ベンチの設置」と回答した人が217人で、「エレベーターの設置」が152人、「駐車スペースの設置」が138人、「入口や通路の段差解消」が136人、「歩きやすい通路に改修」が131人となった。

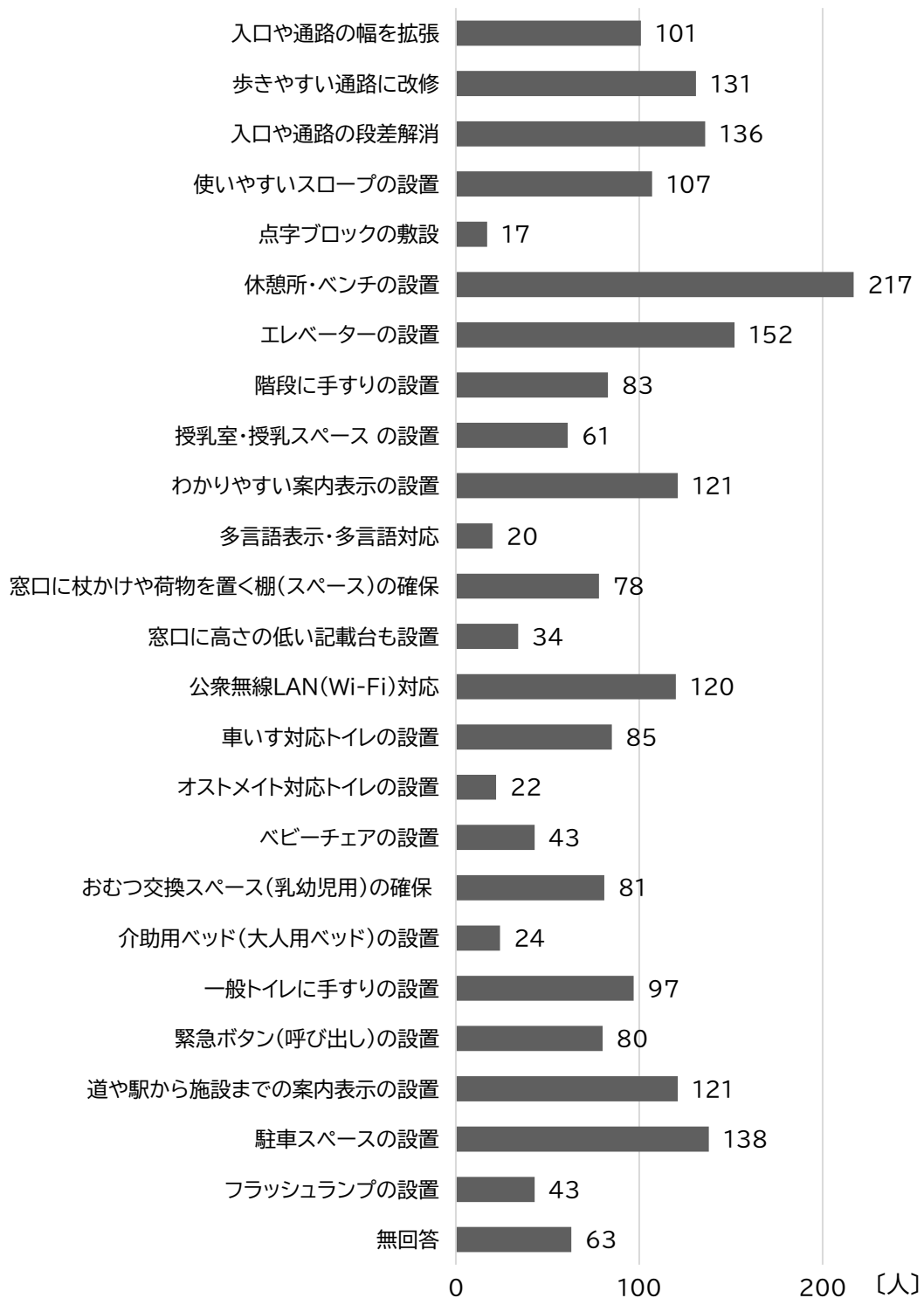


図 23-2 区立施設の改善してほしいことの内訳 (N=597)

6-24 区の施設の窓口の対応や手続きの不便さ

【問 25】あなた（宛名のご本人）が利用したことがある区の施設の窓口の対応や手続き（オンライン・対面・郵送など）について『不便さ』を感じることはありますか？

- ・『不便さ』を感じることはない」と回答した人が 856 人（45.6%）で、『不便さ』を感じることもある」と回答した人が 832 人（44.3%）となった。

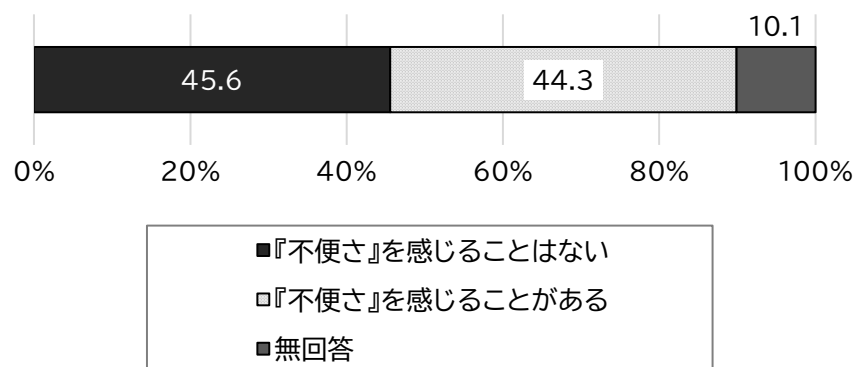


図 24-1 区の施設の窓口の対応や手続きの不便さの有無（N=1,878）

・区の施設の窓口の対応や手続きの不便なこととして、「平日しかやっていない」と回答した人が 348 人で、「待ち時間が長い」が 321 人、「書いてある内容がわかりづらい・難しい・理解しにくい」が 302 人、「オンラインで手続きできない・完結しない」が 267 人、「情報量が多い（必要な情報が見つげにくい、どこにあるかわからない）」が 265 人となった。

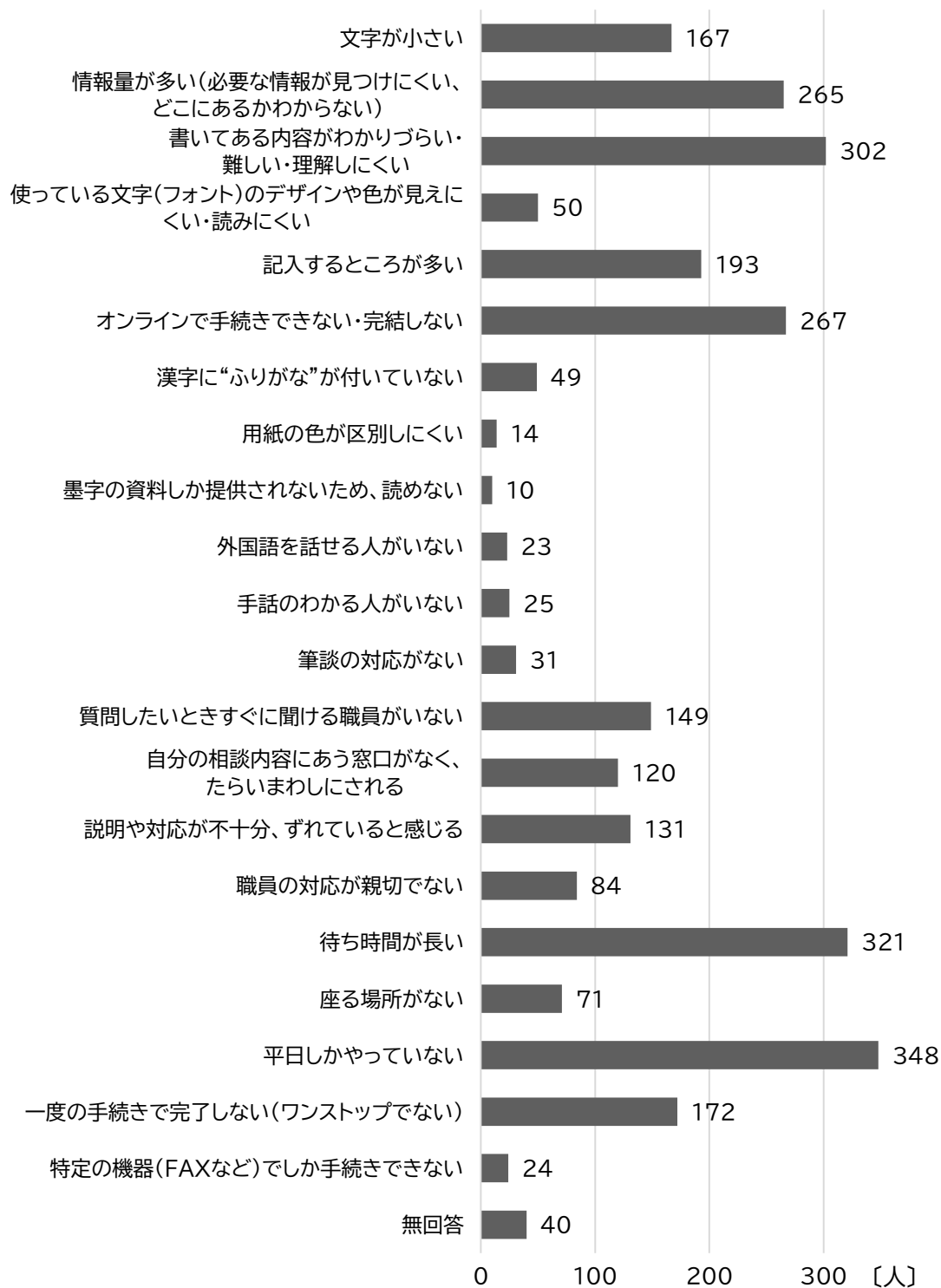


図 24-2 区の施設の窓口の対応や手続きの不便なことの内訳 (N=832)

6-25 お店の対応（10年比較）

【問 26】あなた（宛名のご本人）が利用したことのあるお店での買い物や外食で、お店の人にサポートを依頼したとき、10年前（2015年頃）に比べて対応はどう変わりましたか？（もっとも多かったもの1つだけに○）

- ・「そもそもサポートが必要になる場面はなかった」と回答した人が 931 人（49.6%）で、「以前と変わらず、店員が対応してくれる」と回答した人が 268 人（14.3%）、「店員が対応してくれることが増えた」と回答した人が 215（11.4%）となった。

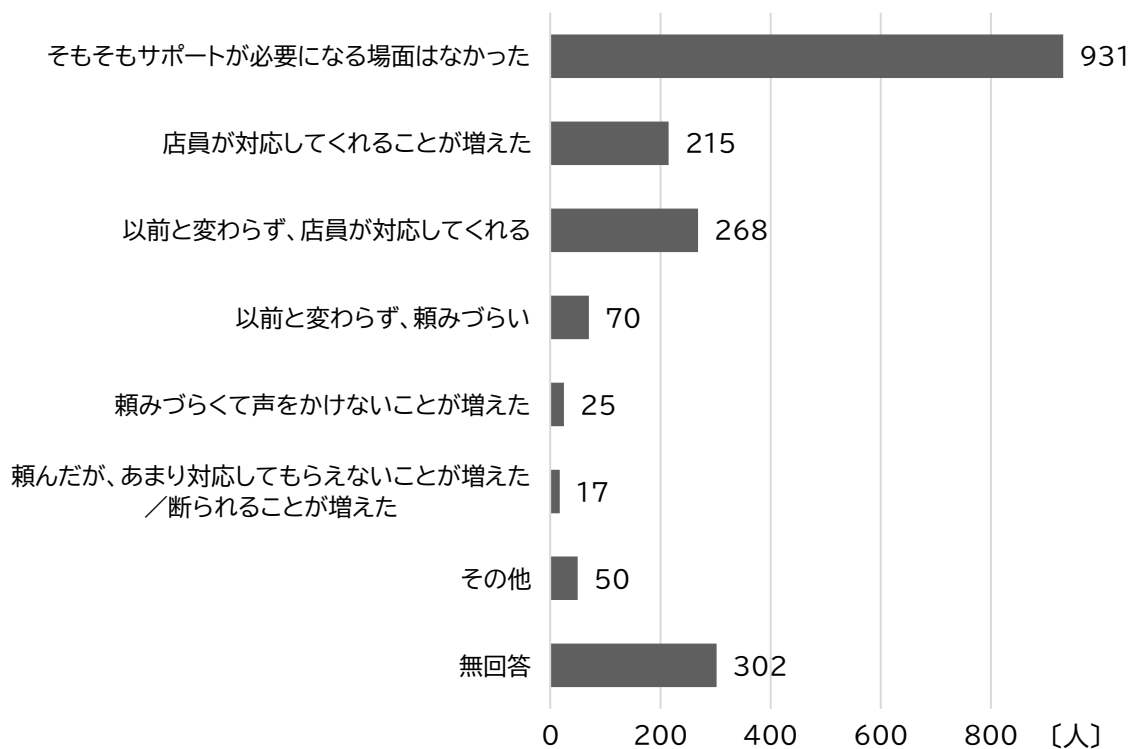


図 25 お店の対応で感じる内容（N=1,878）

6-26 買い物や外食時の不便さ

【問 27】あなた（宛名のご本人）がお店での買い物や外食をする際に『不便さ』を感じることはありますか？

- ・「『不便さ』を感じることはない」と回答した人が 919 人（48.9%）で、「『不便さ』を感じることもある」と回答した人が 811 人（43.2%）となった。

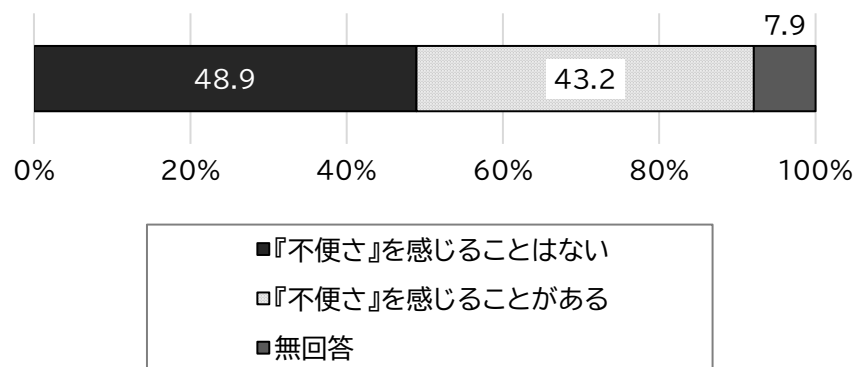


図 26-1 買い物や外食時の不便さの有無（N=1,878）

・買い物や外出時の不便なこととして、「入口や通路が狭い」と回答した人が 294 人で、「入口や通路に段差がある（スロープがない）」が 213 人、「メニューがわかりにくい（タブレットを含む）」が 201 人、「休憩スペースがない」が 198 人、「お店の駐車スペースがない・少ない・狭い」が 183 人となった。

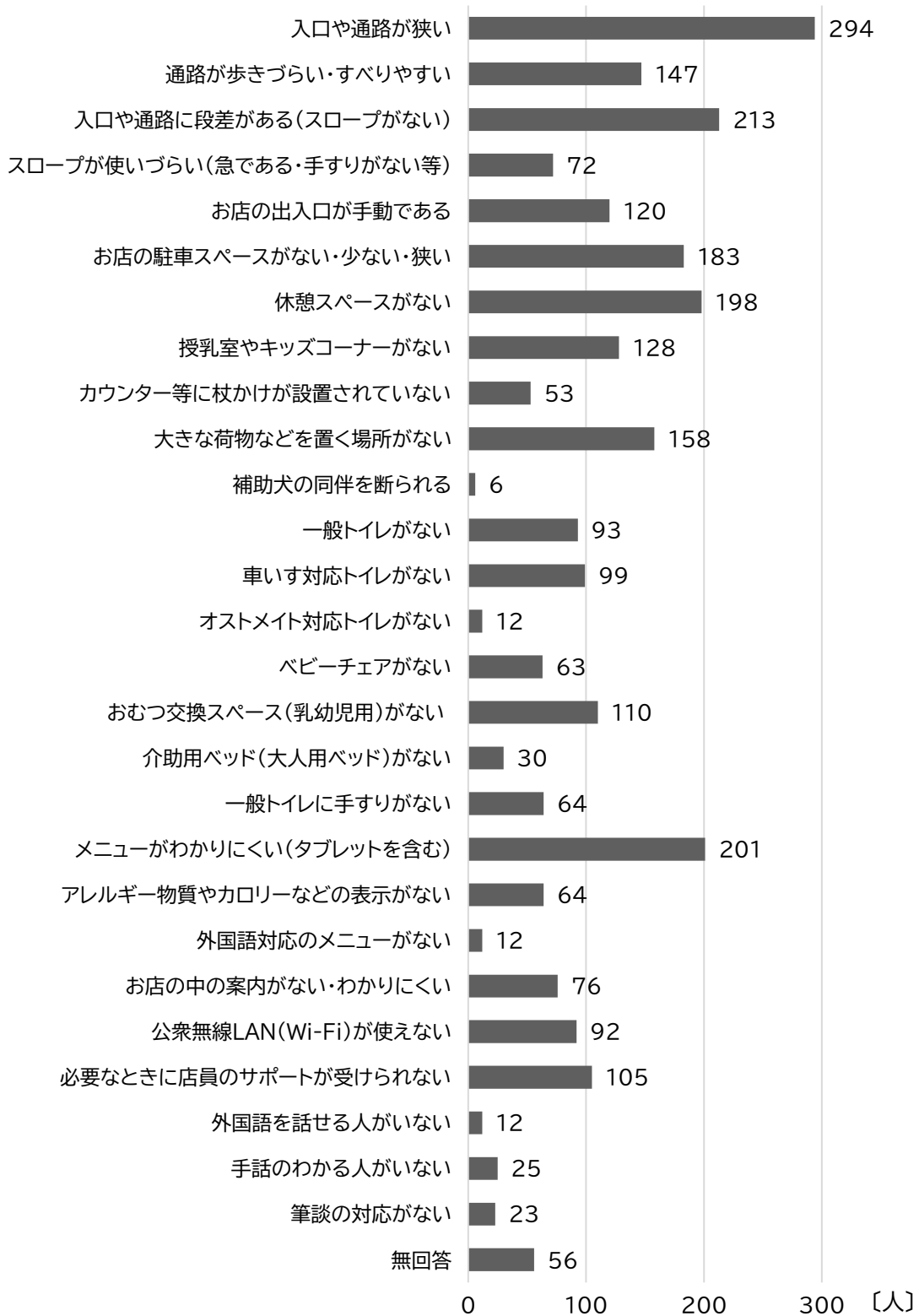


図 26-2 買い物や外出時の不便なことの内訳 (N=811)

6-27 講演会・イベントなどへ参加する場合の配慮

【問 28】あなた（宛名のご本人）が、区の開催する講演会・イベントなどへ参加する場合、必要と感じていること（配慮や条件、ニーズなど）は何ですか？
・「特に必要と感じていることない」と回答した人が 1,187 人（63.2%）で、「配慮があれば参加できる」と回答した人が 430 人（22.9%）、「配慮があっても参加できない」と回答した人が 72 人（3.8%）となった。

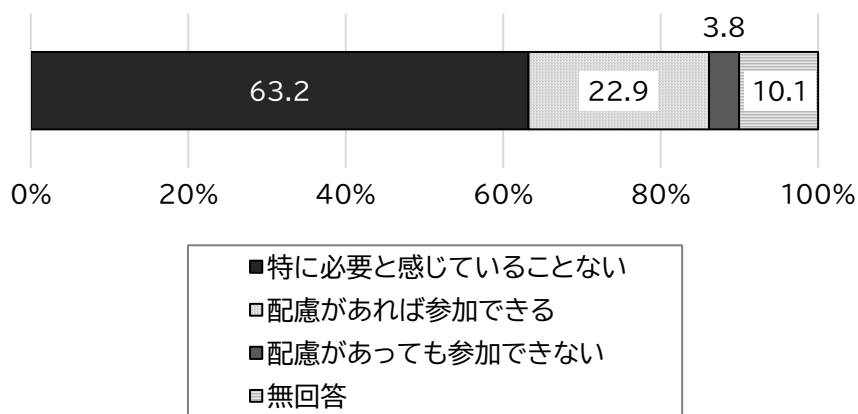


図 27-1 講演会・イベントなどへ参加する場合の配慮の有無（N=1,878）

・講演会・イベントなどへ参加する場合の配慮として、「参加しやすい時間帯での開催」と回答した人が222人で、「オンライン（インターネット）での申し込み」が182人、「駅から近い会場」が180人、「後日、動画視聴できる」が148人、「駐車場や駐輪場がある会場」が133人となった。

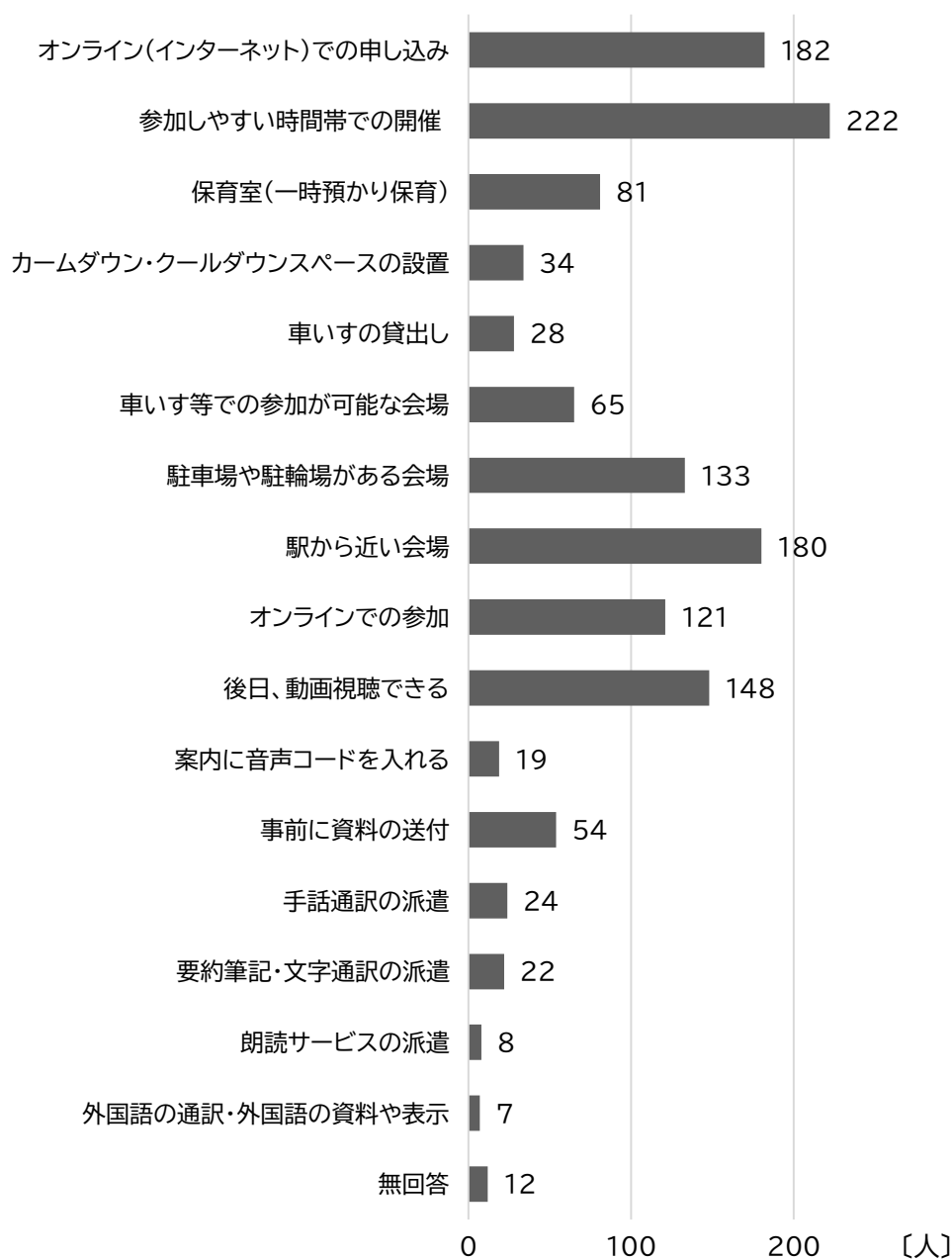


図 27-2 講演会・イベントなどへ参加する場合の配慮事項 (N=430)

6-28 防災訓練への参加

【問 29】あなた（宛名のご本人）は、近所や地域で開催されている防災訓練（職場や学校等の防災訓練やイベントの防災コーナーは除く）に参加したことはありますか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「参加したことがない」と回答した人が 1,360 人（72.4%）で、「参加したことがあり、今後も参加予定である」と回答した人が 277 人（14.7%）、「参加したことがあるが、今後は参加しないまたはできない」と回答した人が 167 人（8.9%）となった。

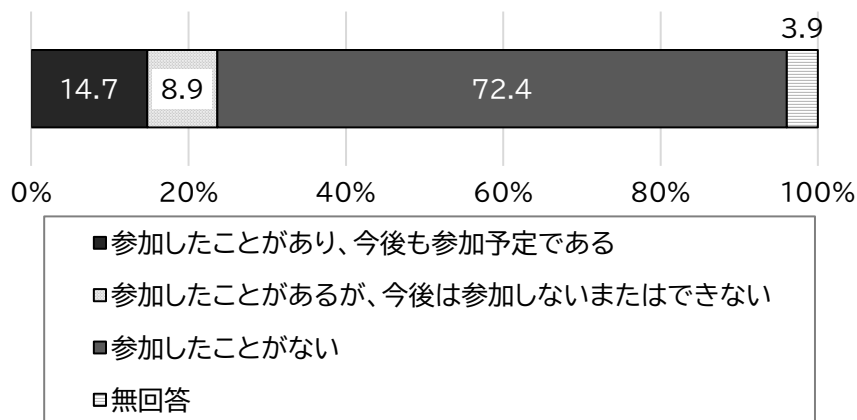


図 28 防災訓練への参加の有無（N=1,878）

6-29 防災訓練に参加できない理由

【問 30】あなた（宛名のご本人）が、近所や地域で開催されている防災訓練に参加しない、または参加できない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- ・「開催日や開催場所を知らない／案内が届かない」と回答した人が 801 人で、「都合がつかない（仕事・体調・親の介護やこどもの世話など）」と回答した人が 614 人、「訓練内容や対象者がわからない」と回答した人が 380 人となった。

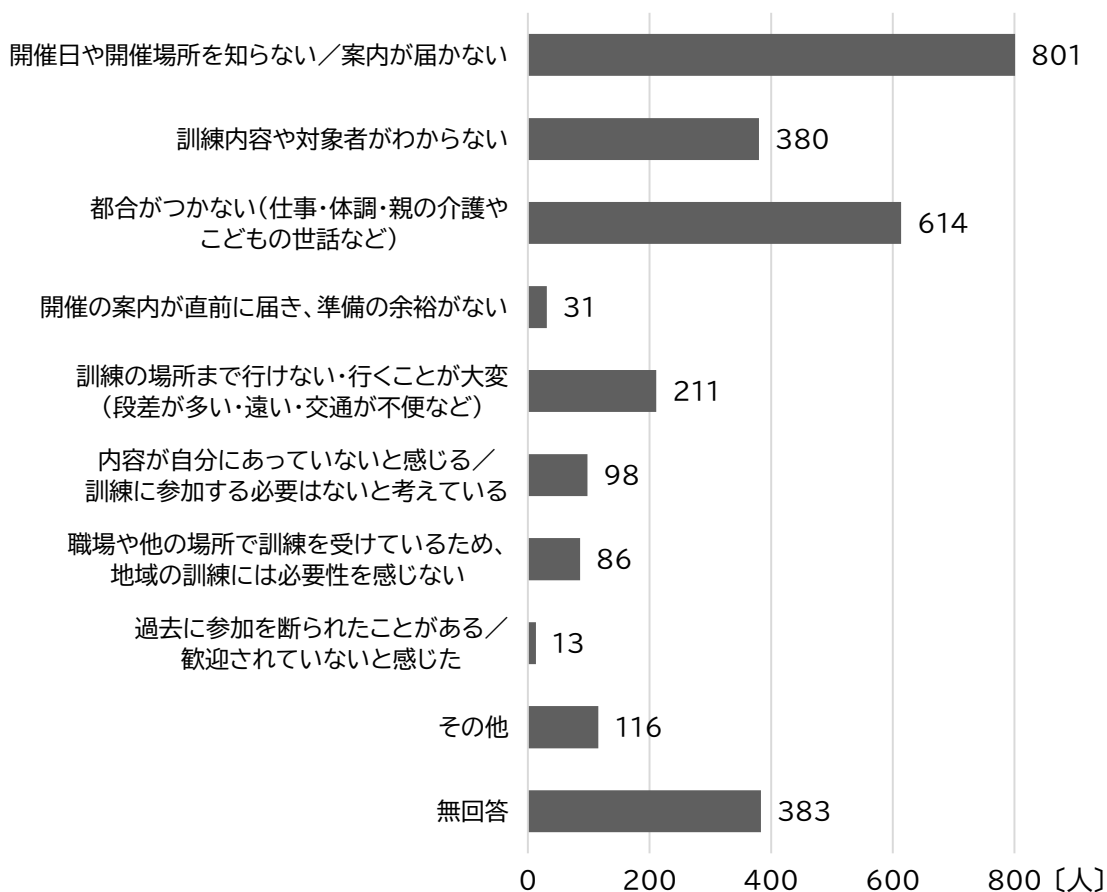


図 29 防災訓練に参加できない理由 (N=1,878)

6-30 まちの中での声かけの有無

【問 31】 あなた（宛名のご本人）は、まちの中で困っていそうな人がいたら「お手伝いしましょうか」など、声をかけることはありますか？（1、2どちらかに○、2を選択した場合、理由をア～キの中から1つに○）

- ・「声をかけないことが多い」と回答した人が 1,095 人（58.3%）で、「声をかけることが多い」と回答した人が 662 人（35.3%）となった。

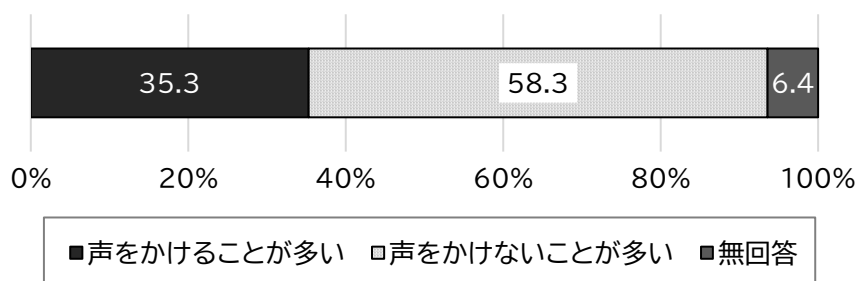


図 30-1 まちの中での声かけの有無 (N=1,878)

- ・声をかけない理由として、「手伝うことが困難だから」と回答した人が 313 人で、「本当に困っているのか判断できないから」が 233 人、「お節介になるような気がするから」が 145 人となった。

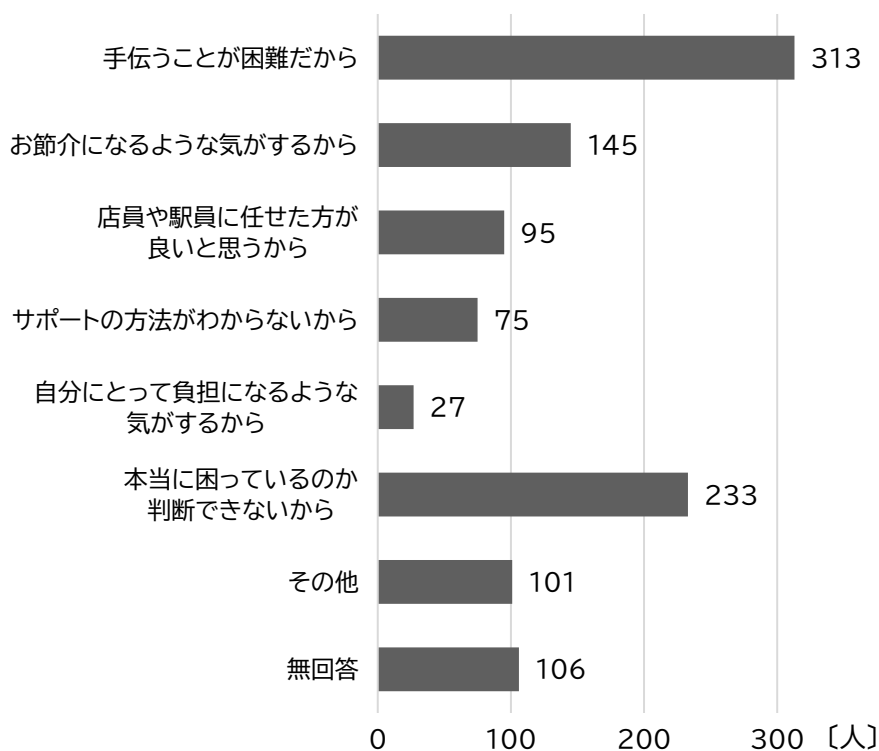


図 30-2 声をかけない理由 (N=1,095)

6-31 困っていそうな人への声のかけやすさ（10年比較）（1つだけ）

【問 32】 あなた（宛名のご本人）は、まちの中で困っていそうな人がいたら、10年前（2015年頃）に比べて声をかけやすくなりましたか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「変わらない」と回答した人が734人（39.1%）で、「わからない、場合による」と回答した人が439人（23.4%）、「声をかけにくくなった」が209人（11.1%）となった。

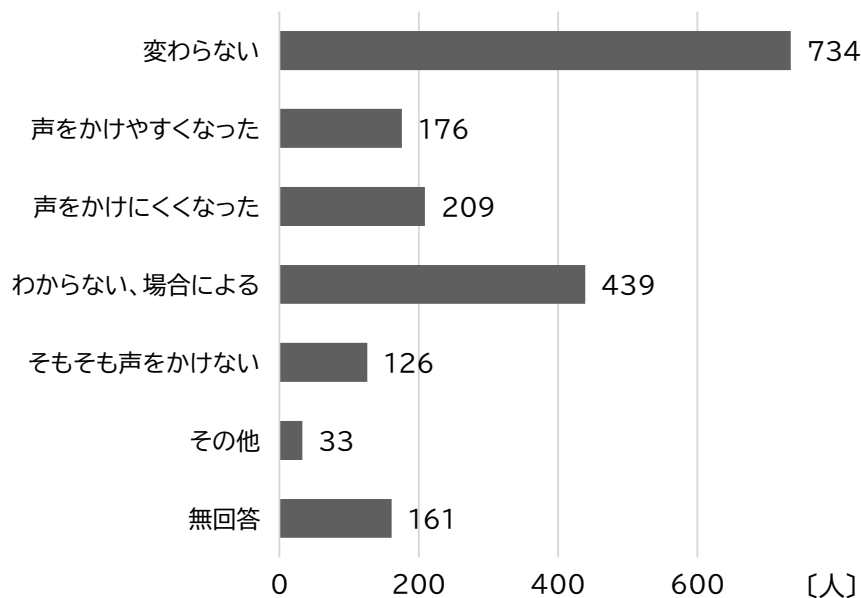


図 31 困っていそうな人へのまちの中での声のかけやすさ（N=1,878）

6-32 まち中で困ったときのサポート依頼

【問 33】 あなた（宛名のご本人）がまちの中で困ったとき、まわりの人にサポートを頼んだことはありますか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「そもそも困るような状況になったことがない」と回答した人が 891 人(47.4%)で、「サポートを頼まないことが多い」が 382 人(20.3%)、「頼んでいないが、まわりから声をかけられることが多い」が 285 人(15.2%) となった。

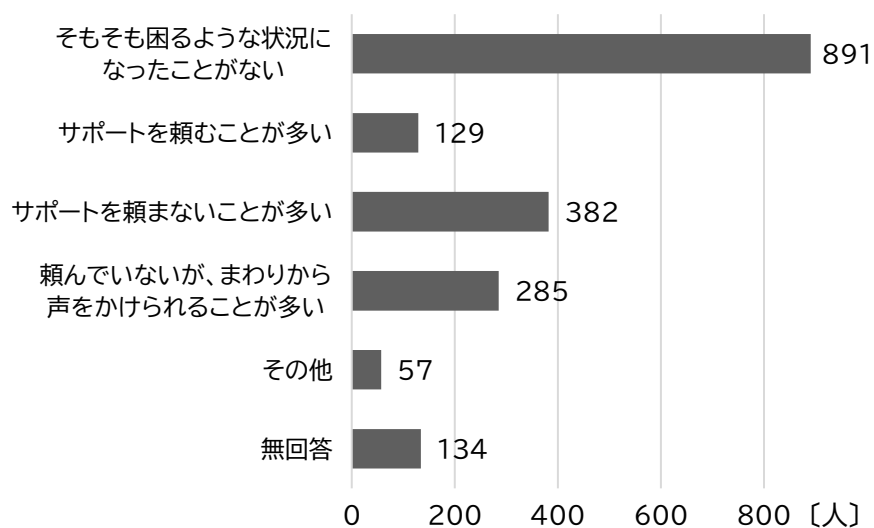


図 32 まち中で困ったときのサポート依頼の有無 (N=1,878)

6-33 まち中で困ったときのサポート依頼のしやすさ

【問 34】あなた（宛名のご本人）が困ったとき、10年前（2015年頃）に比べて、まちの中でまわりの人にサポートを頼みやすくなりましたか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「サポートを頼むような場面がなかったのでわからない」と回答した人が865人（46.1%）で、「今も前も頼みにくい」が328人（17.5%）、「もともと頼みやすく、変わらない」が302人（16.1%）となった。

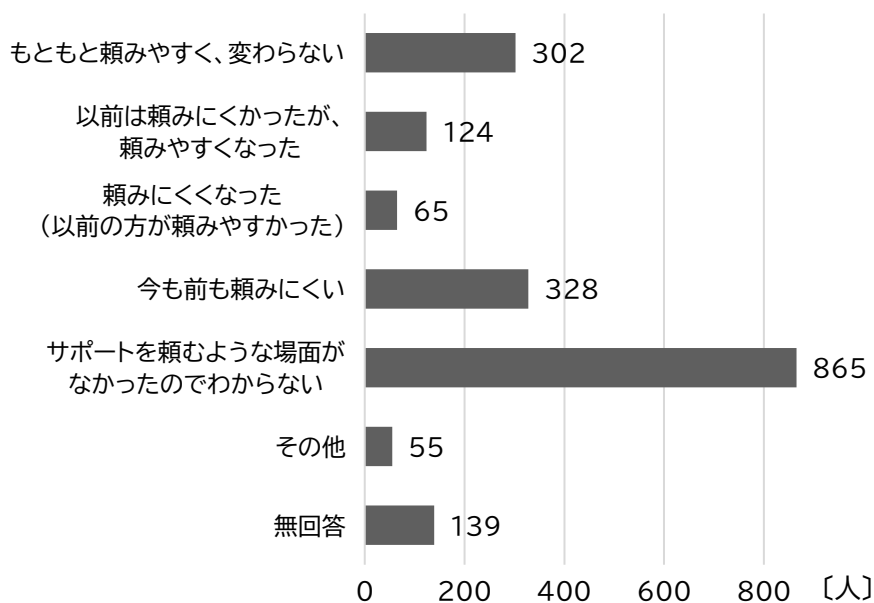


図 33 まち中で困ったときのサポート依頼のしやすさ (N=1,878)

6-34 困ったときに声をかけられる頻度（10年比較）

【問 35】あなた（宛名のご本人）が困ったとき、10年前（2015年頃）に比べて、声をかけられることが増えましたか？（あてはまるもの1つだけに○）

・「困った場面がないのでわからない」と回答した人が651人（34.7%）で、「今も前もあまり声をかけられない」が512人（27.3%）、「以前からよく声をかけられていて、変わらない」が232（12.4%）、「以前はあまり声をかけられなかったが、増えたと感じる」が230（12.2%）となった。

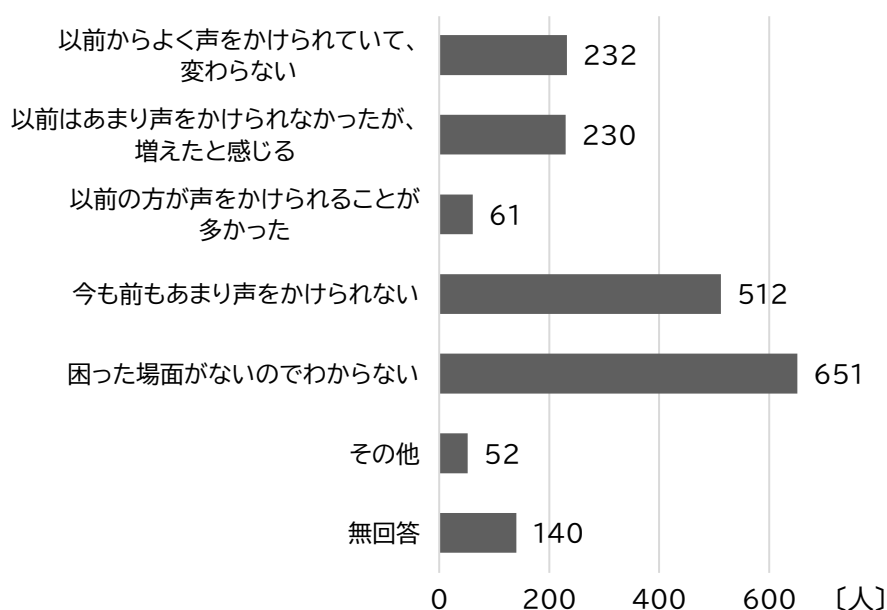


図 34 困ったときに声をかけられる頻度（N=1,878）

6-35 「障害の社会モデル」の認知度

【問 36】『障害の社会モデル』という言葉を知っていますか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「知らない」と回答した人が1,236人（65.8%）で、「聞いたことはあるが、定義がよくわからない」と回答した人が352（18.7%）、「定義は何となく理解している」と回答した人が147人（7.8%）、「定義までよく理解している」と回答した人が62人（3.3%）となった。

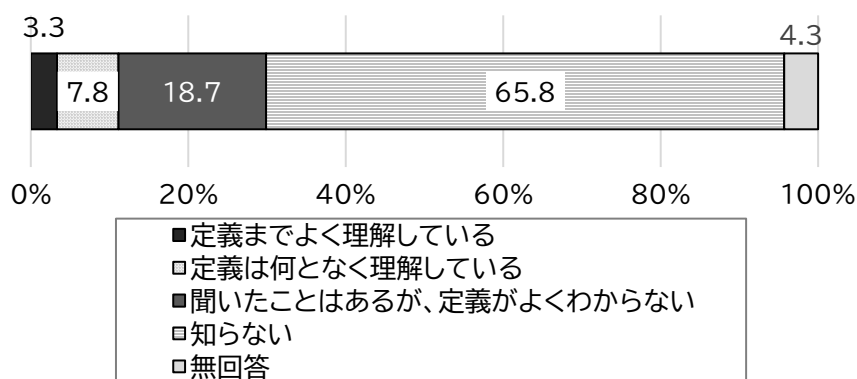


図 35 「障害の社会モデル」の認知度 (N=1,878)

6-36 「合理的配慮」の認知度

【問 37】『合理的配慮』という言葉を知っていますか？（あてはまるもの1つだけに○）

- ・「知らない」と回答した人が947人（50.4%）で、「聞いたことはあるが、定義がよくわからない」と回答した人が416（22.2%）、「定義は何となく理解している」と回答した人が267人（14.2%）、「定義までよく理解している」と回答した人が155人（8.3%）となった。

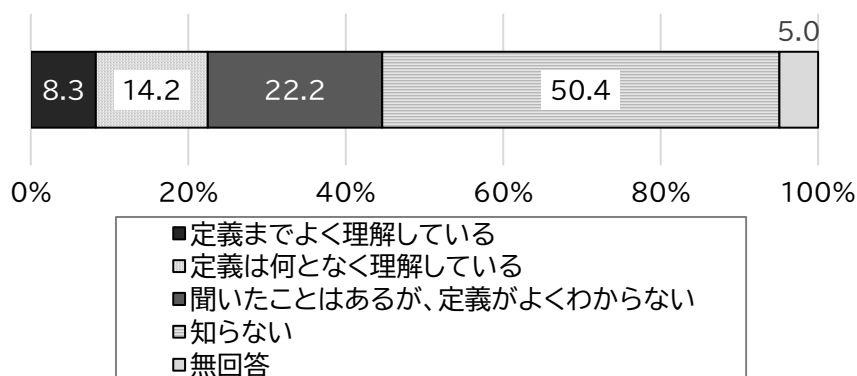


図 36 「合理的配慮」の認知度 (N=1,878)